京城日報

廿六日夕刊

定價　本紙一部金二錢五厘一ケ月金六拾錢（郵送料前金）一ケ月金六拾五錢三ケ月金壹圓九拾錢六ケ月金三圓七拾錢▲郵券代用二割增

廣告料　▲五號活字一行金七拾錢▲特別欄內一行金壹圓貳拾錢▲三號活字の一行は二號活字同樣▲六號活字の一行は五號活字同樣の事

發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話番號　編輯(四番)一二四番　營業(三番)二六〇番　振替貯金口座京城三〇〇番

◎對支交涉成行如何
一般に事態重大と觀らる

山東省に於ける我守備兵銃殺事件其他に關する日支交涉北京に於て正式に開始せられたるが進行の結果に付ては一般に事態重大なりと觀測せらる(東京電報)

◎南京會議結果と袁總統
馮國璋の報告=總統の喫驚=結局は袁總統の退職か

二十二日夜馮國璋より南京會議の報告到着せるが其の內容は國會を回復し總統問題を之にて解決すとありしかば袁氏は喫驚し二十三日重要人物を集め會議して帝位派と非退職武力解決派の間に激論あり結局袁氏は適當なる退職手續と善後方法あれば退職すべく依然之を南京會議に附すべしとて其の旨を馮に打電せり

▲袁總統處分寬大希望　猶段祺瑞も彼の退職の速かなる爲め南方が袁氏の處分を寬大にせん事を希望し南方に其の意を通じ遣りたりと(北京特電)

◎支那全鐵道擔保說
米國より二千五百萬弗の借款

支那政府は支那鐵道全線を擔保として米國より二千五百萬弗の借款を起さんと計畫中なりとの說あり(東京電報)

◎四川省正式獨立宣布

四川省は正式に獨立を宣布せり(漢口電報)

▲秩序恢復　一旦獨立せし四川省は漸次秩序恢復を見つゝあり(漢口電報)

◎革命軍の濰縣入城

革命軍は去る廿四日開城せる濰縣を占領せり(青島電報)

◎ビ公米國に到らん

獨逸フオン、ビユーロー公はベルンストルフ伯と代つて駐米大使たるべしとの觀あり(紐育電報)

▲別報倫敦來電に據ればビユーロー公は獨帝の旨を受け米國に來らんとする模樣あり(紐育電報)

◎英國上院徵兵法案可決

英國上院は第三讀會に於て採決を行はずして徵兵法案を可決したり(倫敦電報)

◎波海聯軍潛艇の活動

コツペンハーゲン來電に曰く聯合軍が波羅的海に於て再び潛航艇をして活動せしむるに至りたる結果獨逸の商船は總て護衛を附する事とせり(倫敦電報)

◎獨軍村落占領

巴里來電に據れば獨軍はヴエルダンの西北九哩の所にあるキユミエールの村落を占領せり(紐育電報)

◎陸軍將校敍勳

藤井陸軍少將以下二百五十三名の陸軍將校に對し二十五日左の如く敍勳行賞の御沙汰ありたり(東京特電)

獨立守備隊司令官陸軍少將　藤井幸槌
陸軍士官學校長陸軍少將　與倉喜平
朝鮮駐箚憲兵隊司令官陸軍少將　古海巖潮
敍勳二等授瑞寶章(各通)

◎雌雄鑑別器の發明

雌雄鑑別器發明せらる(東京電報)

◎聖上士官學校行幸

天皇陛下には廿六日午前九時宮城御出門陸軍士官學校に行幸在らせられたり(東京電報)

◎延納効果不良

風水等による災害地田租延納施行の結果は成績不良にして効果を見ず(東京電報)

◎砂糖益々昂騰

砂糖益々昂騰し躍進の氣配也(東京電報)

◎寺內總督參觀

寺內總督、山縣政務總監は二十七日午後二時より工業專門學校に赴き二十八日開會の筈なる工業專門學校、同附屬工業傳習所の生徒製作品陳列會を觀覽す可く石塚農商工部長官以下各部長官、局長等も隨行の筈也

◎司法官會同(第五日)
二日間延期さる

司法官會同五日目は二十六日午前十時より總督府第二會議室に開會各司法官は勿論寺內總督、山縣政務總監以下關係各部長官、局長、課長等出席し國分長官總裁の下に豫定の日程を議了、午後四時散會したり因に同會同は二十七日終了の筈なりしも協議事項夥多の爲め更に二日間を延期し二十九日閉會の事となれり

◎京畿隊署長會議終了

五月二十日より京畿道廳宣化堂に於て開催中なりし京畿道警務部管內隊署長會議第七日は廿六日午前八時各隊署長廿八名其他隊本部副官主計警務部警視及び係上級警部出席隈部警務部長統裁の下に開催し衛生事務に關して委細打合する所あり正午散會之を以て全く這回の隊署長會議は終了せり而して午後零時半より一同は憲兵隊司令部高等官集會所に於て古海憲兵司令官よりの茶菓の饗應を受けたり尚隊署長は今明中に其れ其れ歸任す可しと

◎定例長官會議

廿六日は定例長官會議當日なるも午前は司法官會同の爲め午後二時より總督府第一會議室に開會寺內總督以下各部長官局長等出席し通常政務に付協議打合の上四時散會したり

◎總長茶菓饗應

古海警務總長不在に付き山形大佐代理となり廿六日午後零時半より憲兵隊司令部警務總監部高等官集會所に於て入京中なる京畿道警務部各隊署長を主賓となし其他憲兵隊警務總監部警察關係の重なる者を招待して茶菓の饗應を爲せり

◎鮮銀發展
哈爾賓支店開設

朝鮮銀行哈爾賓支店設置の件は二十四日附を以て總督府の認可を得たり鮮銀にては目下諸般の準備を急ぎ居れるを以て不日開店の運に至る可きが同地は滿蒙對北滿は勿論鮮露の經濟的連絡要路として極めて重要地點なれば之れが經營の良否如何は鮮銀將來の發展に深甚の關係あり支店長の如きも同行內主要職員、若くは支店長中の有力者を擧ぐ可きこと勿論にして目下之が詮衡中なり

□袁總統退職條件
北京電報參照

袁項城退職後の保護條件は當然の成行として南北に於て非常に其寬嚴の程度を異にするが今馮國璋が南方側と協商せる條件として傳へらるゝ處に據れば

△項城は退職後再び國中に居るを得ず△其在職中の犯罪行爲は處罰に限せず△項城の私財中十分の三を選擧し其十分の七は戰地人民の損害賠償に充つ△項城は在職中の犯罪より見るも以後公權を喪失して大總統に再被選の資格なし

而して北京方面の提出條件は

△項城は退職後國內に移居し護衞兵を附すること△中央政府は猶北京に置くこと△在來元勳官吏の生命財產を保護すること△雲南唱議以後北京政府が各國政府と訂約せし一切の秘密條約借款等を承認すること

◎軍需供給と船腹

朝鮮皮革會社にて露國よりの註文を受けたる軍靴の一部出來せしを以て本月末より來月上旬に渉り一千六百箇二萬一千足其の重量五百噸を浦鹽に送荷する事に決定朝郵社船に積込むこととなりしも目下朝鮮浦鹽航路就航船は日鄞立神丸休航中に付船腹の不足甚しきものある爲めに六月一日元山出發の忠淸丸は僅に百五十噸より積載し切れず六月十一日同港出帆の京畿丸に三百噸殘餘は次便に積込むこととなれる由

□日本に親袁派內閣
奇怪なる報道

袁總統は大隈內閣を倒し以て日本に親袁派內閣を成立せしむるの策謀を畫し居れりと傳へらる(北京電報)

◎重石界沈衰

目下市中に行はれつゝある重石の賣買相場は六十パーセント內外の比較的良品にして十斤廿圓を出でず乃ち頓三千二百圓內外に付先月の天井相場に比し約四割强の下落なる爲め鮮人は盛んに思惑して容易に手放さず殊に地方仲買人は下落を知らず重石を產地より纒め來る者も少なからざる如く現品は市場に出づるも取引振はず双方睨合ひの姿なるが此の狀態は尚ほ半月位は續くべく重石仲買人中には多少打擊を受くる者出で來るべし因に京城出市物は依然忠淸北道品最も多しと

◎東拓移民通計
第六回迄にて三千戶

今春移住せし東拓第六回移民は五百等八戶にて第一回よりの通計二千九百四十三戶なるが之れを各回別に擧ぐれば左の如し

第一回百二十四戶、第二回三百六十八戶、第三回七百四十六戶、第四回六百八十戶、第五回五百八戶

乃ち大正二年移住第三回移民最も多く爾來累年減少の趨勢にあり朝鮮事情の漸次よく內地に知了せられ會社亦勸誘に最善を盡しつゝあるに拘はらず來賓の斯く不振なるは殖民事業の前途頗る困難なるを思ふに足るべく又內地農民の朝鮮移住費をだに得る能はざる程生活難を感じつゝある故ならんと云ふ尚ほ既住移民三千戶の二に該當するが流石に其の移住は中部以南にて大部分を占め其の各道別左の如し

京畿四九一、忠北八、忠南二二五、全北四〇八、全南五〇六、慶北三四、慶南五二九、黃海三五八、平北七、平南二三、咸南二四

尙ほ右の中半農半漁移民は七十一戶にして第二回二十一戶第三回十二戶第四回二十三戶第五回十五戶なり

◎釜山船渠施工

朝鮮在籍船の增加と共に船渠の建設は必然起り來る問題にて多年釜山仁川等には其の計畫の聲ありしが本年二月二日總督府より釜山大池西條兩氏に對し乾船渠の建設を認可ありし該船渠は資金十萬圓絶影島より海面に出出せしむる計畫にて一千噸級の汽船まで入渠せしむべしと云ふが何分にも勞銀當初企業の際より著しく昂騰し船渠建造上の重要品たるセメント並に鐵材の不足を感ずるに至り大池氏等も其の施設著手を控へ居れど起工期限の六箇月も漸く切迫しつゝあるに付最近船渠豫定の海面並に陸地に標識を打ち込み其の工事の準備に取掛りたる旨某所に通知ありたり其竣工期は大正六年八月までなりと

◎學校記念植林巡視

京城府各學校に於て今春行ひたる學校林記念植樹狀況視察のため京畿道月岡技師及び道府等の各學務書記同行二十六日午前より各記念林を巡視す

◎寺西軍醫監視察

寺西軍醫監は溫陽なる陸軍療養所視察の爲め二十六日午前八時四十分龍山發天安へ向へり溫陽一泊の上二十七日歸任の筈なり

◎露貨騰貴

日滿聯絡貨物引換代金換算率は五月廿五日以降東淸及び烏蘇里線著の分は百圓に就き百六十八留(從前より二留騰貴)と變更せられたり

仁川

▲氏子總代改選　二十六日仁川に於て大神宮氏子總代改選の結果左の諸氏當選せり
△第一區　美濃谷榮次郎、玉植歲一郎△第二區　長野茂樹、宅甚之助△第三區　奧田貞次郎、河野竹之助△第四區　稻田勝彥、吉岡廣太△第五區　丁致國、張錫佑

▲猩紅熱終熄す　仁川警察署調査によれば客年一月二十四日猩紅熱患者發生以來仁川市內に於ける該罹病者は全員六十四名にして內三十名の死亡者あり他は五月二十四日迄に全治退院せり之にて仁川に於ける猩紅熱は終熄せるものなりと

▲仁川調理研究會例會　仁川調理研究會月並會は二十五日正午宮町三福本店樓上にて開會會員及び關係者其他來賓等あり盛會なりき

平壤

▲商議創立委員會　五月二十五日午後二時より平壤旭町商業會議所創立事務所に於て第三回發起人會を開きたるが阿部委員長を始め淺井松尾山根遠藤村井中西外三名(日人側)李春燮外七名(鮮人側)の委員左の件を議決し午後三時散會したり

第一號　評議員定數に關する件
(イ)評議員定數の內々地人及び朝鮮人の數は內地人十六名朝鮮人八名とす
第二號　評議員選擧期日時場所に關する件
(ロ)評議員選擧期日時場所大正五年六月十二日自午前九時至午後三時平壤府旭町三番地商業會議所創立事務所
第三號　選擧人名簿の縱覽期日及び其確定期に關する件
(ハ)選擧人名簿は大正五年六月四日より同年六月八日迄旭町商業會議所創立事務所に於て關係人の縱覽に供す而して選擧人名簿は大正五年六月三日を以て確定す
第四號　選擧委員選定に關する件
(二)定款第九十四條に依り選擧委員五名を選定する事

第四號案は選擧委員長に宮川五郎三郎、委員に在間行太村井正明李春燮林鎭奎の諸氏に決定せり

▲春蠶概況　平安南道に於ける春蠶の概況は目下稚蠶の早きものは二眠遲きもの一眠中にて今日の所にては概して發育良好なりと因に本年の春蠶收繭豫想高は一萬三四千石ならん

▲塚田大佐講演會　既報の如く塚田大佐は平壤黃金町演武場に於て二十四日午後七時より乃木將軍の幼少時代より說起し其の最後迄の逸話を最も通俗的に講演したるが來聽者三百餘名に及び午後十一時大盛況裡に會を閉ず

▲物產陳列替　平安南道物產陳列場にては先般總督府陳列館より人形を借用し平壤染織所製品其他道內の織物を以て人形の衣服を製作し著用せしめ陳列すべく其他一般の陳列品の陳列替をなす筈にて目下道勸業課員專ら準備中なり

▲傳染病患者(平壤)　府の傳染病患者現在は腸窒扶斯一實扶的利亞四猩紅熱一パラチプスニなりと

▲面吏員等の表彰　平安南道成從面金世鳳大同郡金祭面鄭跡里高成有中和郡唐井面唐谷里朴選鎬中和郡新興面三鷹里金利信平壤府舘後里康秉鈺以上五名は產業發達公共衛生等に盡力　龍岡郡金谷面々長曾一衡順川郡慈山面々長崔東稷中和郡水山面々長李弼鎬大同郡紫足面々長牟正豊楊井面々書記林保永龍岡郡三和面々大同郡大同江面々書記邊鳳欽中和郡書記洪錫萬江西郡水山面々書記朴明善以上七名は多年面長或は面書記として面行政事務に鞅掌し其功績顯著にして一般の模範となる可き人物として今回面吏員及び篤行者彰表規定により工藤道長官は銀盃一箇宛を各郡廳經由の上授與其功績を彰表せり

春川

▲蠶業の發展　江原道春蠶掃立總見込數は約三萬三千枚にして其の狀況は地方により大差有りと雖も早きは五月初旬遲きは五月下旬に開始し發生狀況及び發育等極めて良好なるが既に掃立のものは一眠前後にして收繭見込數は約六千六百石なりとす而して桑業は發芽前寒冷の爲め多少遲延したるが其後氣溫俄に昂騰し降雨の度も亦適合し桑葉の伸長良好なるを以て供給圓滑なり而して前年度成績に比すれば配付及び共同購入枚數のみを以て既に總掃立枚數を超過し加之前年度は二千三百枚の在來種有りしが本年度に於ては絶無の好況を呈し現在の見込に依れば約一千一百石の增加を見るに至るべし尚ほ本年は從來の成繭共同販賣組合の外に平康麟蹄に出張所を設け且つ殺蛹乾繭の設備擴張等急ぎつゝあり

大邱

▲明治神宮奉贊協議　既報の如く廿五日午後一時より大邱府廳樓上に於て明治神宮新道奉贊募集協議をなしたる結果在大邱官吏以外內地人より一千圓鮮人より五百圓の寄附金を募集する事に決し詳細なる成案を作る可く竹崎大邱府尹委員長とし伊藤吉三郎、杉原新吉、內田六郎の三氏を委員に選定せり

▲大邱附近苗代近狀　大邱を中心とし附近の苗代狀況は降雨の順調なりし爲め頗る順調に發育し苗丈け二寸に伸び六月中旬頃には田植開始し得べき見込みなり

▲浦項港浚渫調査　慶北迎日郡浦項港浚渫改築は浦項民宿年の熱望にして屢々其筋にも陳情する所ありしが今回總督府に於ては是が實際調査をなさんとて總督府技手最勝寺辰二氏を派遣し廿六日より十一月頃に亘る長日數を以て實地測量調査に著手する事となれり

▲金晉自動車出願　慶北金泉邑申錫雨氏は金泉晉州間自動車營業認可出願中なるが總監部に於ては目下審議中なりと

▲人事　▲樋口道書記出張　地方事務視察の爲め廿四日より七日間の豫定にて安東地方に出張せり▲矢吹道技手出張　榮州地方道路調査の爲め廿五日より二週間の豫定にて榮州地方へ出張せり

天安

▲野犬撲殺　天安憲兵分隊には管內に野犬多く萬一狂犬の出で良民を害する等の恐れあるにより二十七日より全部撲殺する由なれば飼犬は宜しく名札を付することに注意す可しと

▲洪城行自動車　天安洪城間の自動車は時々故障生じ運轉せざる事ありしが本月より新に自動車一臺を增し三臺にて復舊し汽車の連絡に時間を勵行し居る爲め近來一般旅行客は大に滿足し居れり

群山

▲亥角課長來往　總監部庶務課長亥角仲藏氏は二十一日全州より伊藤警務部長と自動車に同乘來群したるが寺島群山署長の案內にて各官公衙を歷訪し翌二十二日は市內各所を視察し正午警備船九重丸にて群山近海漁場の警務狀況視察に赴き即日歸群一泊翌二十三日午前十一時二十五分發列車にて歸任の途に著けり

▲長官歡迎宴　全羅北道新任李道長官の管內視察の爲め來群せるを機とし官民合同の新任歡迎宴は豫定の如く二十三日午後七時より府廳樓上に於て開催せられたり官民有志の參會せる者百餘名會衆の席定るや天野府尹は群山官民を代表して新任歡迎の辭を述べ李道長官亦之に應へて謝辭を述べ酒宴に移りたるが酒間は花月の紅裙總出にて斡旋し歡談時の移るを知らず主客十二分の歡興を盡し午後十時散會したり

▲長官出發　別項視察の爲め來群せる李道長官は二十四日午前七時三十五分發列車にて金堤に向け出發せしが停車場には官民多數の見送り盛なりし

釜山

▲三角新航路計畫　青島關門間の定期船は一箇月十回の定期船ありしも船腹不足の結果六回に減ぜられ貨客の不便少からず又青島朝鮮間の航路も朝鮮郵船の原丸が一箇月二回の往復のみなれば釜山との連絡を缺き貿易上の損失少からざるものあり當地及び關門商人の間に青島釜山の三角新航路を開始すべく計畫中にて遲くも六月上旬迄には實現するに至るべし

▲鑛產館の開館式　釜山商業會議所にては二十八日午前十時より新設鑛產館の開館式を擧行すべく準備中なるが此の機を以て商業會議所の解散及び新設商工俱樂部の竣成を祝賀する事なれば會議所にては出來得る限り盛大ならしむべく模擬店餘興所を設け官民を招待する事三百六十餘名の多數に達せり

▲公園の改修　龍頭山公園改修設計は其の筋の注意により計畫を變更する事となり府廳土木課に於て調製中なりしが廿五日全く完成せしを以て若松府尹の決裁を經て請負入札を行ふ筈なり

▲東萊鐵鑛試掘　桂二郎氏以下共同經營の下に出願中なりし東萊北面の鐵鑛は愈試掘に著手し同試掘事務主任遠藤氏は來任したり

▲埋築と認可申請　企業會社第一期埋築工事は總坪十三萬五千坪なるが內二萬二千坪は既成し今又六萬坪丈竣成せるを以て廿四日之が使用認可を總督府に申請せり

人事消息

▲本田親淸氏(代議士)入京中の處二十四日退京
▲町呂景義氏(工學博士)　同上
▲普門海軍少佐　同上
▲北京見學團一行　入京
▲末松四郎氏(步兵少佐)　同上
▲古城梅溪氏(贊化病院長)　二十六日朝滿州へ
▲入江海平氏(理財課長)　二十六日歸任の筈なりしも二十九日朝となる可し
▲香孫子爵氏(專修學校長)　不日淸州、公州、全州、光州、大邱、晉州の各地に出張
▲齋藤音作氏(營林廠長)　二十九日入京の筈
▲太田三郎氏(朝鮮銀行滿洲總支配人)　廿六日朝大邱へ
▲スミス氏(米國陸軍少佐)　同新義州へ
▲飯塚軍倉庫長　廿六日朝釜山へ
▲李根澔子爵　二十五日夜水原より歸京
▲李容植子爵　二十五日夜開城より歸京
▲秋岡憲兵大尉　二十五日夜大邱へ
▲宮本憲兵中尉　同上
▲牧世軍二十名　二十五日夜鐘路より入京
▲森藤氏(醫學士)　二十五日朝入京朝鮮旅館へ投宿二十六日夜退京の豫定
▲小栗憲兵大尉　二十五日夜入京山本旅館へ
▲黑田憲兵中尉　同上
▲中村再造氏　二十六日朝大邱へ
▲森勝次氏　同上
▲林田金次郎氏(石炭商)　同上
▲永谷齡駒課長　二十六日朝元山へ
▲物集女學博士▲中村長五郎氏(中村組總支配人)　二十六日午後七時五十分南大門驛發列車にて入京天眞樓に投宿の筈
▲村上龍佶氏(李王職事務官)　盲腸炎病氣の爲め廿六日午前南大門發急遽郡里へ

○安奉線より　外一名生
(木村理事一行の消息)

安奉沿線、柞樹茂る。以て柞蠶を飼ふ可く、線香を作るべく、鐵道の枕木とすべし。

苦葉若葉他國の富を嫉みけり

沿線又水田多し。田作るは鮮滿いづれ野菊かな

褞袍著て支那の農見つ野菊哉

之を經濟句といふ

□露太公のキッス ニコライウイッチ太公はエルゼルムの勝利を聞き感極りてユデニッヒ將軍の額にキッスを與へたり

●朝鮮人の頭腦に浸み込んだ保險に關する觀念=阿部泰藏氏談

世界中で保險は海上保險が一番初めに出來た夫れは地中海の航海が不安であつた爲めに商品に保險を附する事と成つたのが最初で無論最初は不完全なものであつたのが漸次發達して今日のものと成つたのである海上保險の次に

▽生命保險 が出來相並いで火災保險が

出來た其他最近に成つて旅行、傷害、勞働其他諸種の保險が出來たが殆んど皆損益を度外視して主となる保險に附隨して營業して行く傾がある言ふ迄もなく海上、火災、生命が保險中の主なるものである保險の發達の程度を見るに其國の文化の程度を物語ると言へるが現に世界中で一番盛な國は米國で次が英國、獨逸と云ふ順序であつて必ずしも文化の程度を物語るとも言へない卽ち最も關係するのは

▽富の程度 如何に據るので米國の如き

は何事に依らず華やかに大袈裟だし英國は地味な手堅い處があるが保險界の狀況にも其樣な國民性が現はれてゐる日本には現在生命保險許りで四十餘りの會社があるが被保險者の數から調て見ると中流階級が最大多數を占てゐる上流は財産があるから死後の事を思ひ煩ふにも及ぶまいし下流社會は死後の事を計るよりも先づ生前の事の爲に追はれてゐると云ふ結果であらう最近に於て政府が

▽簡易保險 を始めると云ふので害は

右下級勞働者の爲めにと云ふのだけれど是れは怎も如何かと思はれる外國と云つても國に據つて緩嚴必ずしも一致しないが處に據つては勞働者は必ず保險に加入せざるべからずと云ふ法令と同時に政府が保險料の三分の一を補助し雇主にも三分一を負擔させ自身は三分の一を納入すればいゝと云ふ風に一方に強制すると同時に補助する事に成つてるが日本の簡易保險に至つては強制もせず補助もせずと云ふのだから

▽到底充分 の成績を舉げる事は難かし

からうと思はれる殖民地に於ける保險と云つて別に組織的に調査されたものもないが臺灣では明治四十年頃保險に關する各種の事を調査して見た處が怎も內地に比して死亡率が多いこれ主として氣候の關係だらうと思はれるが恁うなつて來ると內地と同樣の保險料では營業が苦しい位である一體保險は死亡率と利率と營業方法との

▽三方面の 調和が取れてこそ始められる

ものだのに第一死亡率が多過ぎる事と成れば經營が六ケ敷くなるのは勿論である朝鮮は臺灣などに比し非常に氣候はいゝのだから其樣な事は無からうと思ふがまだ朝鮮に於ける保險に關しての事は何も調査されてゐないのでよく分らない朝鮮には現在內地の四十許りの會社の內十五六の支店出張所乃至代理店があつて會社に依つては內地人許りの被保險者を募集し鮮人を募集せぬ處もあるが

▽是れ今日 に於ては無理からぬ事で

朝鮮人も上流社會ならば兎も角大多數は富と敎育の程度が低級なのだから契約した上でも入金を遲延させたり破毀したりする事は平氣だと云ふ朝鮮は今迄こそ働いても〳〵皆お上に絞り上げられてしまふので自然怠慢になり貧乏であり隨つて學資をも出し兼ねたと云ふ有樣であつたらうが今後は働らけば働く程收入は增して來ると云ふ事が一般の頭腦に浸み渡つたらうから富の程度も高まると同時に敎育も

▽普及する だらうし隨つて一般に常識

の發達した國民が出來る事に爲り保險などに關する感念も發達して來るだらうと思ふ卽ち今後に於ける朝鮮の保險は會社の方では內鮮人の區別など取除く事に成るのは勿論鮮人の方からでも進んで應募すると云ふ事に成つて來ると思ふ處が玆に一つ厄介なのは保險令に就てである現在滿洲及び關東洲には各別箇に內地と違つた保險令があつて非常に面倒な事がいくらも起つて困つてる朝鮮でも三四年以前其事に就いて取調べられたが種々困難な事が起つて其儘になつてる願くば內地と同じ法令の下に統一した管掌をされたいものだと思ふ

十日目の取組

(稻の穗 大の川)(寒玉子 宮城山)(紅葉川 近江富士)(大戶平 岩木山)
(紙漉 小常陸)(柏戶 釋迦嶽)(玉手山 源氏山)
(眞砂石 兩國)(石山 紫雲龍)(大蛇潟 對馬洋)
〈中入後〉
(朝潮 栃木山)(太刀山 西の海)
(藤の川 龍ケ崎)(千葉崎 四海波)(敷島 稻葉嶽)(土州山 朝…)
(千年川 梅川)(黑瀨川 玉の川)(鳴門洋 逆鉾)
(大鳴門 宇都宮)(浦の濱 九州山)(伊勢濱 大錦)

▲廿七日休場

二十七日は水交社に於ける海軍記念日餘興相撲のため大場所は臨時休業とし二十八日十日目千秋樂を興行する事となれり(東京特電)

●汽船若松丸火災を起して遂に沈沒す

二十五日夜千葉縣長生郡白方村沖合を航行中の汽船若松丸より出火し火焰炎々として天を焦したる後同船は遂に沈沒したり(東京電報)

●栃木山大關說 一月場所より實現せん

西方の常勝將軍天下無敵の太刀山を取れる栃木山は出羽の海部屋に於ける俊髦にして大正四年一月場所に入幕してより連戰連勝の好成績にて小結に昇進せるものなるが彼は大錦、九州山、兩國、對馬洋等に比し相撲巧者にて常に堅實なる取口を爲し居り前相撲より幕內に入るまで僅か數個の黑星を取らせるに過ぎず此の點に於いて稀代の力士として知られたるが性質溫和にして四つ相撲に巧みなり今回太刀山を倒したる偉勳により好角家間に栃木の大關昇進說起り九日目浦の濱及び十日目の成績如何によりては多分一月場所に於いて實現すべき見込みなるがその場合には大錦の正大關に對して張出大關なるべしと豫想せらる

京城に何が欲しいか

我が京城市民諸君と共に講究したい大問題が吾等の眼前に橫はつて居ります。日に月に進步發展しつゝある我が京城は人口の上からも行政、金融經濟、交通、敎育、衞生、其他の社會的の要素の上からも內地二三流の都市に比較し既に甚だしい遜色を認めない程度に達せんとして居ります。殊に朝鮮の首府としての政治的使命の如きは東京に次いで重要なる意味を持て居るのであります。然し乍ら新施設の後日尙淺い此京城には都市として幾多の圓滿なる發達を缺いで居る所のある事は何人も否定し得ない所であります。それならばその不足が何處にありますか。その不足を補ふ爲めに何が欲しくありますか。例へば公會堂、私立の男女中等學校、劇場、圖書館、美術館、一般の日鮮人融和機關など數へ來れば枚擧に遑ありません。何が最も急務であつて、如何にして發起し、如何にして建設し、將た如何にして維持經營すべきか。我が二十五萬の京城市民諸君と共に眞面目に講究したいのは此問題であります

方法

一、投票=急務とするもの三件を一枚の端書に認め京城日報社會部宛投票せられたし
二、投書=投票の外に一件につき十六字詰五十行以內にて意見書及び其實行方法の投書を歡迎す
三、要件=凡て實際的の研究にして民度に適したるものたるを要す
四、締切=六月七日
五、有力者の意見=投票締切後に於て高點に達したる件に就て內鮮官民有力者の意見を叩き紙上に連載す

●電車子供を傷く

二十五日午前十一時頃京城電氣會社の六十六號電車が鍾路三丁目を新龍山に向け進行中同地韓昌淳の二男韓東先(五)が線路を橫切らんとして救助網に觸れ左眼上下及び右手に擦過傷を負ひ最寄醫院にて加療中

●狩獵免許鑑札の返納期 昨年度下附を受けたる狩獵免許鑑札は本月末日迄に所轄官憲に返納すべき規定なるが期日を經過するも納付せざるものは科料處分に處せらるべしと

●兇器は小刀と西洋釘

京城中林洞李圭客(二〇)は五月十九日午前一時頃竹添町一丁目古物商申云浩方の戶締りを小刀及び西洋釘にて捻ぢ開けて忍び込み現金十四圓餘を竊取し尙現金三百圓入りの大形鞄を持去らんとする所を家人に發見され難なく取押へられて鍾路署に引渡されたるが取調べの結果外二箇所にても同樣泥棒を働きたること判明し檢事局に送られたり

都この頃

お上りさんの行きあたりばつたり、何を見るやら何を聞くやら自分でも判らぬことを、わからぬなりに、つまんで、書いて—。東京にて、高書房

—二—司法記者室

裏口から入つて、廊下の花崗石の階段を登ると、損れ違ひに手錠網笠の男が通つた。その後から看守の靴音が忙しく續いた。

▼廊下を出ると、太い石柱が立ち並んだ百坪に餘らうと思はれる廣間の隅に、巡査と押丁が控ねて居る。高い明かり天井の厚い玻璃を通して來る光線が、「裁判所」といふ氣持に似つかはしく薄暗く淀んで居る。その暗い光の中を廣く縫く流れて居る階段を一歩々々拾つて登る。登り切つた眞向ふの部屋には、大審院二號法廷と書いてあつて、其隣に新聞記者控室。

▼「詐害行爲——こいつは、民法でも難かしいところなんだよ、まア四五年法律で苦しまなけりや、わからんね。」胴衣から金鎖を見せてる一人が悠然と其隣りの若い紺背廣氏に言ふ。紺背廣氏は默つて背中を圓くして卓上に置かれた記錄を寫しとつてゐる。

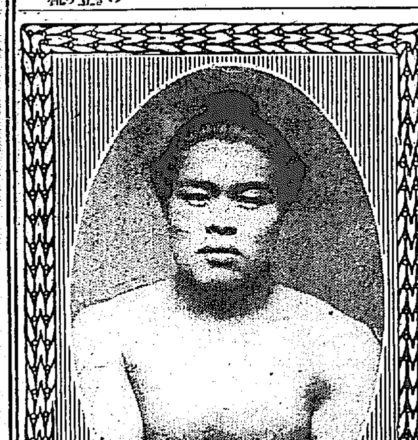
▼默々として、辨當飯の親子丼に對しつゝあつた短髯氏は最後の紅生姜を頰張つて、番茶を一口、口へ入れると、そのまゝ、急に顏を緊張させて、送話器の前に立つ。「新橋——番……ウム、△△さん居るか。出て貰つて呉れ。あなた△△さん？可いですか。……牛込區神樂町二ノ卅五杉崎伊兵衞他十八名は辯護士岩崎勳氏を代理人として——可いですか——日本橋區本町若尾銀行代表者若尾民造氏及び馬喰町第三十五銀行東京支店吉田忠右衞門氏を對手取り、東京地方裁判所に價格十六萬五千餘圓の株券取引の詐害行爲取消及び原狀恢復の訴訟を提起せり。——可いですか。——其事情をきくに、——出訴に及びたるものなりと。」

▼「君の方は夕刊は其れで終りか」「ウン、拷問事件は朝刊だ」

▼地方裁判所第三號法廷。雙を分けて木棉羽織に小倉袴の元警視廳の刑事が一人と元品川署の刑事が二人被告席に立つてゐる。例の小守壯輔を拷問したといふ瀆職事件である。傍聽席は滿員、記者席も椅子が足らないので、二三人蹲まつて聞いてゐる。立石裁判長が輕く穩かに事實の審問を進めて行く。終つて、證據書類の提出、辯護人の證人喚問申請など型の如くあつて次回開廷期日決定。

▼とや〳〵と新聞記者控室に歸つて來た各社廿六士、先づ一發「檢事の起訴意見は何だい。初めから被告に同情してゐる。あれじや芝居にならんぢやないか。八百長だね——」續いて二發、五發、七發。

▼地方裁判所第三號法廷の前の掛札の中には、五月二十一日開廷爆發物取締罰則違犯福田和五郞他八名、六月十五日開廷詐欺同幇助恐喝加藤增雄など、いふものも見えた。



太刀山を敗れる栃木山

▲今年から工業專門學校を併置した府內駱駝山下の工業傳習所は二十八日の日曜午前十時十分から恒例の製作品陳列會を開く工業熱勃興の今日非常な盛會であらう

▲元山商業會議所會頭は道回京元線に一日二回の直通列車を運轉して貰ひたいと請願書を提出に及んだこれは萬人が萬人希望する處であらう

金牌受領 髮を黑く長くつやを出しさらくとして髮のかゆきを防ぐ 本椿香油

▲追々金剛山に出かける避暑客が動き出した今年はだいぶ多いらしい ▲靑葉蔭清流に鮎を狩るの時季となつた南では密陽もよし北では元山文川附近も好漁場である ▲釜山には靑島から山東鹽が多く這入るから六月早々靑島、釜山、門司間の三角航路を開く計畫がある

■東京大相撲夏場所星取表

(黑中○勝●負×分△預や休)

東の方	成績	西の方	成績
西の海	[illegible]	鳳	やややややややや
大錦	[illegible]	太刀山	[illegible]
對馬洋	[illegible]	伊勢濱	[illegible]
栃木山	[illegible]	大蛇潟	[illegible]
兩國	[illegible]	浦の濱	[illegible]
九州山	[illegible]	石山	[illegible]
源氏山	[illegible]	大鳴門	[illegible]
宇都宮	[illegible]	玉手山	[illegible]
釋迦嶽	[illegible]	八甲山	[illegible]
紫雲龍	[illegible]	鳴戶洋	[illegible]
小常陸	[illegible]	[illegible]渡	[illegible]
近江藤	[illegible]	大戶平	[illegible]
岩木山	[illegible]	黑瀨川	[illegible]
大の川	[illegible]	寒玉子	[illegible]
宮城山	[illegible]	眞砂石	[illegible]
梅川	[illegible]	千年川	[illegible]
朝[illegible]	[illegible]	土州山	[illegible]
稻葉嶽	[illegible]	稻の穗	[illegible]
四海波	[illegible]	紅葉川	[illegible]
龍ケ崎	[illegible]	明[illegible]	[illegible]
玉の川	[illegible]	柏戶	[illegible]
逆鉾	[illegible]	敷島	[illegible]
綾川	[illegible]	朝潮	[illegible]
勝星 六十六 負星 八十八		勝星 八十二 負星 六十五	

●銀貨僞造こは 釜山大新洞居住金致徵(二七)は去る明治四十五年……里金成祚に鐵製の機械を示し之れ……銀貨を僞造するものにて精巧に出來……面九英里金振五(三六)及び孫相鳳とを仲間に入れて府山居住の金永展を前……釜山地方法院の豫審に移され審理中なりしが廿二日豫審決定同法院公判に……

……し同家の實掛代金二圓を騙取したるを手初めに外二箇所にても同樣詐欺

同梅子、同朝藏、同哲伸、佐藤敬太、市川寅、番換、趙明復、金崎金平、內田駒吉、村上天武、北原きな、箭功、堀宗虎造、鵜松啟郎、金爾晉吉

天氣 晴後曇り 五月廿七日

優等清酒
釀造元 福岡縣三井郡山川村 富安本店
發賣元 京城永樂町二丁目 富安京城支店 電話一〇三九番 振替口座四三九番

資本金 貳千百五拾萬圓
積立金 九百參拾五萬圓
株式會社 第一銀行京城支店 京城本町二丁目(振替貯金京城一一番)
頭取 男爵 澁澤榮一
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
內地朝鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候

□建築用 □工業用 □壁塗用 □消毒用 □肥料用 □セメント □左官材料 □其他一式
製造工場京城麻浦
長谷川商店 電話三八三番

京城本町一丁目
直輸入 土木建築 金物商 諸官衙御用達
千代田生命相互保險會社代理店
名古屋喞筒株式會社代理店
日本石油特約販賣店
佐野彦商店 電話一六三番 振替京城一二〇番

下痢、腹痛にはヘルプが一番よい

健胃整腸
主治 ●食傷●食過●時候あたり●水あたり●寢冷●冷腹等腸胃の故障より起る■下痢腹痛■吐瀉■澁腹
效能 瓦斯を止め■腸加答兒■胃加答兒を治す
本舖 東京日本橋本銀町三 振替東京八六四番 津村敬天堂
●取次は朝鮮到る處の藥店にあり
定價 ■二十錢■三十錢 旅行携帶用■五十錢 徳用■一圓■二圓五十錢

◉女の手一つで　もり立てた淑明女學校

△淵澤女史のむかし話

□去る廿三日京城ホテルで創立十週年記念會を開催した私立淑明女子高等普通學校は人も知る如く學監淵澤能惠先生の女手一つにもり立てられた女學校です

□淵澤女史は朝鮮の教育界に貢獻した處が多いといふので昨年叙勲された程のお方ですが昨年から鳥渡健康を害して今では自ら教壇に起つことをさし控ねて居られます

□記念日のおよろこび旁々お訪ねして見ますと女史は老體ながら愛嬌よく客を迎へていろ／＼なお話しをなさいました

□女史は東京に居られた時地方から上京した中學生などを世話された相ですが當時女史が獻身的に教育された人々には政友會幹部の政治家もあれば大學教授の博士もあります

□併し女史の教道道樂は人物を養成するには成功しましたが經濟向きには御損つゞきでありました女史はその爲めお茶の水附近に文具店を開いて商賣爲さいましたが當時梅屋の文房具店といへば評判の店だつた相でございます

□併し利益は總て他人に與へましたので途に二千餘圓の負債をさへ負はれました（つゞく）

◉露皇太后の御親書

遺露救護班への感謝状

過般京城を通過して二年ぶりになつかしい故國に歸つた日本赤十字社の露國派遣救護班は這回歸國に際し露國赤十字社總裁たるマリヤ、フエオドロヴナ皇太后陛下のありがたき御親書をいただきました

◉佛領事館の慈善市

父を失つた子供のため

フランスの父を失つた子供の爲めに二十四日京城フランス領事館で慈善市が催ふされました當日は雨中にも拘はらず京城は素より仁川方面からも澤山の内外人婦人たちが集まられてなか／＼の盛會でございました中にも可愛らしかつたのは京城から研園の雛に扮いたマーテル氏

◉國粹趣味の午餐會

□南葵文庫の詩人＝戸川殘花氏の趣向□

回「薄茶々碗百人分の御註文は太閤様以來のことでござんせう!!」と三越の店員を驚かした徳川賴倫侯と達孝伯との午餐會は去る廿一日東京華族會館に於て催ふされました

回當日のお客様は名勝保存會及び日本弘道會に關係ある各府縣知事並びに大學教授等約百餘名會場は食卓の配置から卓上の裝飾は素より燕尾服の給仕までがすべて一點非の打ちどころも無い歐羅巴式でありました

回併し唯だ不思儀なのは型のやうにフランス語で記されてあるべき筈の献立表が小形の扇子となつて半ば開かれてありました

回手に取つて見ますと扇面には金箔の中に水蛍のあとうるはしき大和文字、献立とさへ記されてありました

回それから先づ前菜には貝、若竹の小牛の寄せ物、小百合、炙物はまた夫婦椎茸とありました

回「とり肴」としてからすみ、もろ鰹、胡瓜の鳴門巻が出ました。スープはと見れば白味噌汁に菊の葉と海老を配らつたもの名前には「吸物御幸汁」野路の菊、小櫻海老」と記されてあります

回更に面白い献立には蒸魚に櫻鯛「瀬ごろも」たかんな木芽合、茶碗むしには曉告ぐる鶏卵、香ぐはしき鰻の蒲燒、保存樹の銀杏とありました

回また燒貝「雲丹燒」たひら

回そしてライスカレーの代りには「富士結び」とて三角の握り飯、パンは玄米製、三鞭の代りには屠蘇酒、ベルモットの代りには鞆の保命酒、珈琲の代りには前の三越の店員を驚かした薄茶が出ました

回おしまひに餘興としては純日本物の吉備舞楽公の訣別があつてなか／＼の盛會でございました

◉裁縫學校校舍落成

夜學部で女中さんに教授

明石女史の經營に係る府内日の出町私立京城裁縫女學校は這回新築の校舍が落成しましたから來る六月一日から新校舍に移轉します、同時に同校では六月一日から夜學部をも設け一般女中さん達に裁縫を教へるといふことです

◉バーサー夫人

多年上海に在つて佛教研究家として有名なバーサー夫人は廿四日金剛山探勝に赴かれました、夫人は彼の東京に居られるゴルドン夫人と共に佛教と基督教の同一説を說かれる人、佛教及び支那哲學の造詣深く外人としては珍らしき東洋通の婦人でございます

□新時代の女中　めちや吉

往時の歌人は居ながらにして名所を知ると云つて威張つた相だが、聰明な現今の御女中方はじつとして居ても東都流行界の趨勢が手にとる如く御承知であろ、朝に夕に御飯の焦げるのも忘れ「三越」だの「流行」だのと雑誌研究に餘念がない、鏡に向いて、セセッションが廢かれて未來派様が風靡してるかどうかと研究に餘念がないすると唄か剝いた足袋を穿くのも、矢張り流れてるのかも知れん

神社と教會とお寺

△ヘンケル夫人（仁川）近日京城へ避暑旅行をなさいます

△ヘンシエル夫人（仁川）ヘンケル夫人さ共に二三日中金剛山へ

△西本願寺（永樂町）廿八日午後二時支部婦人會の協議會開催さるべし

△東本願寺（南山）廿七日午後二時より婦人會あり猶は海軍記念日の講演會は廿七日夕刻か

△開教院（本町三丁目）廿八日午後八時より日曜說教あり猶ほ少年說會は同日午前九時より

△元山東本願寺　廿八日噸興師の研究あり

―△會いろ／＼▽―

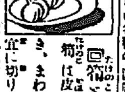
○淑明女子高等普通學校　六月中旬・・學藝會開催

○點茶の會　旭町一丁目三十四番地井上女子技藝教授宅にて毎日點茶の研究會あり

○觀世會支部大會　二十八日午前九時より諸町松葉樓にて開催

○日本基督教會（長谷川町）廿六日午後八時半より兒童會あり

○龍山小學校の運動會　龍山小學校では二十七日午前八時半から同校庭で小運動會を催し兒童の面白い各種の運動競技があります



回筍と獨活の白あひ

筍は皮ごと茹でよく皮か剝き、まわりか綺麗にこそげ適宜に切り、獨活は皮をむいて茹て右二品共、酒醤油味淋煮出しにてよく煮こみ、別に落花生の皮をむき、擂鉢にて當り白味噌の擂り、汁と白味噌に砂糖を加へてよく當り、是れ裏濾にかけ、鍋へ煮出し少量をいれ火にかけて煉り、此の中へ前の二品をいれてよくまぜ合せ、器へもりて用ひます

◉朝鮮才媛の結婚

京城淑明女子高等普通學校卒業の才媛にて釜山鎭普通學校女教師たりし曹貞媛氏（二二）は今回朝鮮歩兵隊陸軍中尉薬氏と結婚されました

婦人界消息

△福田判事夫人（京城地方法院）京城婦人病院入院中のところ全快退院されました

△長屋事務官夫人（龍山鐵道局）久しく京城婦人病院に入院中のところ數日前退院せられました

△倉富ふじ子夫人（朝鮮銀行員）二週間前可愛らしい御ちやんが出來ました

△ジユーリー夫人（元仁川英國領事未亡人）避暑の爲め安東縣へ向け二三日中に出發

△ホツガード夫人（救世軍大佐夫人）過般自轉車にて負傷療養中のところ追々全快なさいました

番茶のあと

先年前統監の曾禰荒助氏が或時お客を招いて牡丹の花を見せたが二三輪みとつて秋に入れられるのを見た人がありました◆不思議な事をなさるとは思つたが氣にも止めずに居ると暫くして食卓に海のものも山のものとちつかぬ珍らしい料理が出ましたので統監におたづねしますとそれは牡丹の花の三ばい酢でございました◆牡丹の花は一寸熱い湯をかけて三ばい酢にしますと風味あるものでございます味は一寸蟹へ様がありませんが何しろも其の白いのが美味しくあります◆このごろは何處にも美しい桐の花がさきました、わけて本町通のかス會社のわき、米倉町工藤ドクトルのお宅、大觀亭など、み な美しうございます◆光州では犬が豚の仔を育てゝゐるので大評判です

商況

東京株式特電

（二十六日前場寄付）

	寄付	大引
日本郵船	[illegible]	[illegible]
東京電燈	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
東株新	[illegible]	[illegible]

債券現物特電

（二十五日東京債券相場（前日との比較））

東京市債	[illegible]
東拓債	[illegible]
朝鮮銀行債	[illegible]
京城電車	[illegible]

公債直取引

（二十六日東京公債）

五分利	九六、八〇
四分利	八二、〇〇

深川在米特電

（二十六日現在高）

朝鮮米	八八、四九二
内地米	六六、五二
朝鮮米	二四、〇〇九

東京期米特電

	三二、〇〇九

大阪期米特電

（廿六日前場）

	寄付	後場
先限	四、九七	[illegible]
中限	四、八九	[illegible]
當限	四、九五	[illegible]

大阪株式特電

（二十六日前場）

先限	一四、〇八
中限	五四、六三
當限	一七、一七

大阪三品特電

（二十六日前場）

	寄付	大引
[illegible]	[illegible]	[illegible]

下關期米特電

（二十六日前場）

	寄付	大引
五月限	一三、三〇	一三、四〇
六月限	一三、二〇	一三、三〇
七月限	一三、三〇	一三、四〇
八月限	一三、四〇	[illegible]
九月限	一三、五〇	[illegible]
十月限	[illegible]	[illegible]

朝鮮物産特電

馬山改良	三、五〇
釜山大豆	[illegible]
元山大豆	[illegible]
城津大豆	[illegible]
仁川白米	[illegible]

雜報

◉石油は手堅し　石油の取引は引續き沈靜白石實狀の價格は外油高を受けて依然堅調の商狀を維持せり

◉絹布氣直り乎　市況引上旬も何分地球不少の鬱りも有るので氣直りの狀態を呈せりと

◉持合ひ裡に底固し　四五日前に一圓五十錢の商狀

◉方引返し

◉牛皮は依然強硬

◉暴騰を續く、約十三圓方の

◉鐵材標準値

◉漆器類見返り

◉生果類の好況

下關相場

△朝鮮白米は不動立　其後の出廻り多からずして別に賣り急ぎ物あらず

各地商況

◉釜山（廿五日の穀物）

◉大邱（二十五日の穀物）

◉木浦（二十四日の穀物）

京城正米

京城雜穀

仁川現物市場

南大門の廻穀

生魚市場

仁川期米

▲二十六日前場　三錢安の入電

二節同事の移

市場零聞

▲前場小鈍し

新規買物多く嫌氣投げ顯

▲僞小相場

頭重

▲月末戰如何

相場の分岐點

直に中限に及ぼし又先限否米界に多大の影響

當月限の成行

仁川米豆取引所

二十六日の七月限

前場	
寄付	十三圓五十五錢
止め	十三圓十五錢
高値	十三圓十三錢
安値	十三圓
出來	一萬六千八百石

平均値段	
一節	十三圓十二錢
二節	十三圓十一錢
三節	十三圓十二錢
四節	十三圓十三錢
五節	十三圓十二錢

賣買取組高

五月限	三百石	二二〇	一安
六月限	四千七百石	二二〇	四安
七月限	三萬三千七百五十石	[illegible]	二安
二十五日後場			四安

北濱だより

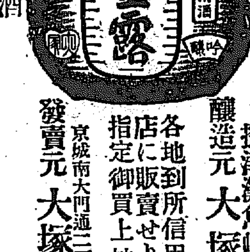
▲紡績株

▲大阪鐵工株

行賀仲買店

吉　仁川港

品質卓絶中味豐富



優等清酒

攝津灘魚崎
釀造元　大塚釀造所

各地到所信用ある食料品店に販賣せり金露印と御指定御買上被下度候

京城南大門通二丁目
發賣元　大塚京城支店
電話四〇一番　振替口座五七〇番

京城永樂町二丁目（商品陳列舘裏門通）
入院隨意
酒井婦人病院
電話二六〇〇番

登録商標
あ安住かとり線香

賜天覽御買上之光榮
伏見大宮殿下御用品
梨本宮殿下御用品
各博覽會金牌受領

雨が降るように蚊が落ちるのは安住蚊とり線香だけです
實驗して御覽

例年の通り景品券附
拾函買へば壹函無代進呈

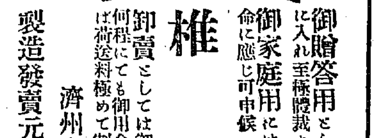
野る處の藥店及び荒物屋にて販賣す

大阪北區宮田町
安住大藥房
電話長東五二九番　振替大阪二六四〇

京城明治町（元善隣學校隣）
内科　小兒科
入院隨意
中島醫院
院長　中島貞信
電話三七八番

畏くも宮内省御買上の幸榮を賜ふ

濟州島特産



椎茸

御贈答用としては最もお適當の美しき箱に入れ至極體裁よく御調進可申候
御家庭用には袋入の實用包みと致し御用命に應じ可申候
卸賣としては御好み次第種々調へ可申候如何程にても御用命下されたく御注文多數なれば荷造料極めて御安く相成可申候

濟州島城内
製造發賣元　西鄕商店

京城府岡崎町
材木商
須川商店
電話（龍山）三四番
欅、槻、朴、桂、杉杢、杉柾、鴨綠江材、各種

工事入札

一、橋梁修繕工事　京城府榮町旭川筋
此入札保證金各自入札金高ノ百分ノ五以上
入札者ハ京城府ニ於テ國稅、府稅、學校組合費年額三十圓以上ヲ納ムル者ニシテ滿二ケ年以上斯業ニ從事スル者ニ限ル
右入札希望ノ者ハ本府會計係ニ就キ入札人心得書、契約書案、仕樣書、圖面、現場等熟覽ノ上五月三十日午前十一時限リ同會計係ニ入札スヘシ即時開札ス
此契約ハ朝鮮總督府尹金谷充擔當ス
大正五年五月二十四日　京城府

演藝案内

天然色活動寫眞株式會社指定一手代理店
黃金町四丁目
電話二六三七
黃金舘

◉寶島　伊太利噴火山
◉泰西大活劇ムンロの秘密　全三卷
◉新派大悲劇南總里見八犬傳　全六卷

本町
電話五七八
壽座
五月二十四日より
新派　夜光の玉
喜劇　忠臣藏　揚巻助六

明治町
電話二六〇番
浪花舘
落語、手踊、音曲

櫻井町
電話八七三
大正舘
五月二十六日より
◉探偵活劇巴里の秘密
◉江戸の俠客腕の喜三郎

御成町
電話二九一
御成座
市川海老松　阪東龜鶴一座

父宗七儀豫而病氣の處本月二十二日午後九時死去仕候間此段生前辱知諸君に訃告仕候
追而葬式は本日當地に於て執行仕候
新義州本町
男　幸村市太
親戚　河島敏
總代　喜多宗一
五月二十五日

宮本武藏

第五十回　桃川如燕口演　浪上義三郎速記

搗米屋の内儀は被つて居た手拭を取つて　妻「良人から一寸先生の處へ參るやう申付かつて居りましたが、つい見世が手放されませんで上りませんでしたが、良人が少々怪我を致しましたので……　吉「那の好きな劍術を七八日も稽古に來ないのは能く／＼の事であると思つて一寸お見舞ひ申しに參つた　女「それは有難うございます、どうか奧へお通り下さいまし」と内儀の案内に從つて奧に來て見ると清十郎は後方へ布團を積んでそれへ寄り掛つてウン／＼唸つて居る、丸で顏が二ツも出來たやうである　女「お前さん先生が居らつしやいましたよ　清「先生ですか誠に有難うございます、如何にも頭が響いてなりませぬから御免を蒙りますウーン／＼　吉「醫師に掛つて居るのか、　女「左樣でございます、お醫者に掛つて居ります　吉「どうしてお内儀さん此んな怪我をしたのだ　女「當人はあの通り苦しんで居りますから妾からお話しを致します、七日ばかり後の事でございます三條小橋を通り掛つて參りましたところ石に躓いて轉びまして其途端に腮を打ちましたものだから其機みに唇を食切つたさうでございます　吉「さうか、私が傷を見てやらう膏藥を貼替へなさい」と云つて膏藥を延ばす、清十郎は顏を顰めて膏藥を取つた、前へ乘出して治太夫先生暫らくの間口傷を見て居りましたが　吉「お内儀さん少し私は清十郎に云ふ事があるから、彼方へ往つて居なさい　女「ハイそれではお茶を煎れて持つて參りませう」と女房は彼方へ往つて仕舞つた、後で治太夫先生　吉「サア清十郎、師弟の間であるから隱し立てをしてはならぬぞ、お前は轉んで打切つたと申すが、私の見た處では轉んで打つた傷ではない、一藝の指南をする私に見分けが付かんで何んと致さう、此傷は石瓦で打つたのではない、蛤刃にこき上げた木劍を以て下から救ひ上げたに依つて其途端に唇を噛んだのである、轉んで腮の裏を怪我する譯はない、若しお前が詐りを云ふならば師弟の縁は絕つて仕舞ふから然う心得るやう……三條小橋邊には私も心當りがないではない、有體に話しをしなさい　清「誠に恐れ入りました、其ならばお話しを申しませう、初りは斯々

末は斯樣な次第と一伍一什の話を聞いて吉岡先生　吉「惡むべきは浦邊藤藏である、是から汝の敵藤藏を打据ゑてやらうに依つて大儀ながら同道いたせ　清「私の事から先生にお出でを願ひましては誠に相濟みません譯で……　吉「イヤ決して心配するな、彼れは毎度此方を惡口云つて居るさうだが、今迄は勘辨して居つたが此方の弟子を斯樣に怪我をさせたからは最早捨て置かぬ、サア一緒に往け決してお前に迷惑は掛けない　清「で、ございますが何分痛みで歩行きません　吉「我慢をいたせ、其處を立切なければ據持にはなれぬ　清「搗米屋に據持はございません　吉「宜いから參れ」と無理に引立てゝ清十郎も仕方がないが何分苦くつて堪ない頰を押へ熱い涙をホロ／＼流しつゝ浦邊藤藏の道場へやつて來た　吉「賴む／＼　門「どうれ」取次の者立出で、參りますると　吉「私は今出川の吉岡治太夫と申す者、是は拙者の門人清十郎と申す者浦邊藤藏に面接いたしたいから取次ぎなさい　門「少々お控へ下さい、取次の門人は驚ろいた　門「先生大變な者がやつて參りました　藤「何んだ　門「吉岡治太夫が清十郎を連れて來ました、先達ての仕返しだらうと思ひます　藤「ヨシ／＼決して心配をするな此方へ通せ、門弟衆暫らく稽古をお止めなさい」十五六人の門弟稽古を止めて其處に並んで居ります、所へ案内に從つて刀を提げて這入つて來たのは吉岡治太夫先生、後へ附いて居るのは清十郎、一段高い所に熊の皮の敷物を致して居るのは浦邊藤藏　藤「是は初めてお目に懸りました、拙者が浦邊藤藏と申す者、御近邊ではあるが懸け違つてお目に懸りませんでした、以後御別懇に願ひたい　吉「之はしたり一段高い所に敷物を致して挨拶をするとは失禮な仕方だ、其方は子弟を澤山持つて居ろ、私は子弟は僅かであるけれども身分に違ひはない、下へ降りて挨拶をしろ」

肌に觸く着心地よき反物の
めいせん
おちや
京城水町二　電話八九〇番

書畫用　絖畫絹
京染呉服商　たまや出張店　京城永樂町二　電話一一九六番

五月廿八日九星
舊四月廿七日乙丑
本命八白艮戌赤口

▲八白● 理不盡な斷有日新事川台東方は吉　昭朝良 ▲九紫● 大活の日轉居旅行求職名弘探識の如き事有日新事手控萬事は吉　又散財を防がるべし ▲二黑● 寄た施て笑はる、事有日 注意新事手控萬事良縁は妨なし ▲三碧● 欺され易き日也事手控常の事は吉買物に用心せらるべし ▲四綠● 平運の日なれども新事控目の方吉 萬事土工は妨なし ▲五黃● 周囲眠しく油斷のならぬ日 注意新事手控常の事は吉 ▲六白● 欺然たる日轉居行商入學名弘命談求職婚禮試驗を受る等皆吉 ▲七赤● 善悪の日轉居出漁金件名弘建築醫井掘組等皆吉 物に働の日

最新最良　ホーカース井ート　廣告詠込都々逸當選發表

の滋養菓子として有名なる眞正朝鮮人參應用

懸賞に募集せるホーカース井ート廣告詠込懸賞都々逸は應募多數の爲め發表期日非常に遲延仕り此段不惡御諒承願上候

（注意）
◎既定の一等（三十圓）二名に該當する傑作なかりし爲め最優秀十二首を一等とし懸賞額を夫々分配仕り候
◎二等三等も此例に依る
◎賞品は五月二十日發送致し候

ホーカー波　ホーカー白　ホーカー美　ホーカース井ート　本舖　東京和泉橋　堀越嘉太郎商店

一等　十二人（三越呉服店五圓切手一枚宛）

ホーカースキート片手に持つて夢を乘せ行く乳母車　假 西尾 信
ホーカースキート咽喉美しく伊達乘床しや木遣唄　伊豆 影山 寮久枝
ホーカースキート口籠らせて朧月夜を三味抱いて　秋田 松田 小雨字
樣が土産の風呂敷とけば、ホーカースキートほろ／＼と　旅順 開吉 筑葉
ホーカースキートの小粹な咽に唄に祇園の灯が濡れる　膳所 加地 しげ子
爺の咳にとホーカースキート、そつと寢床に孫娘　芝區 渡邊 つま子
こもる寢意に煙草をやめて、ホーカースキートの封を切る　芝區 ふみ子
ホーカースキート欠さぬ家は暗い影さへ見舞やせぬ　岐阜 水野 里子
ホーカースキートを懷に秘めて、二人睦まじ嚴狩　芝區 宇野澤はやた
ホーカースキート欠さぬ聲は、三味に乘りますさ笛に合ふ　横濱 田中 好子
ホーカースキートに咽美はしく君が小唄も宵の春　本所 三谷 木溪
こだま返して舞臺に響く、ホーカースキートの聲の艶　遠州 小栗 信吉

■二等當選者（十八人）（三越呉服店二圓切手一枚宛）◎岐阜可兒貞子◎東京八木東太郎◎東京宮崎松太郎◎東京住田京丸◎茨城紫沼貞次郎◎東京荊井小鹿◎熊本川瀬温泉◎福岡長野新太郎◎信州原山定吉◎伊勢中林晴太郎
■三等　當選　廿五人（三越呉服店一圓切手一枚宛）
■四等　當選　六十八人（ホーカー波一本宛）
■秀逸　當選　百一人（ホーカース井ート一個宛）
多數に付省略賞品の到着を以て當選と知られたし　追て發表する事あり

朝鮮人參應用　最新最良の　滋養菓子
血となり肉となる
ホーカースヰート
定價　大七十錢　小四十錢　見本各四錢

ホーカース井ートは麥の主成分に新發見の滋養原料を加味し更に古來有名な眞正朝鮮人參を應用精製してありますから品質優良に滋養分の豊富なる事他に比類なく味はひも亦頗る上品で常に召上れば
■咽喉を整へ、音聲を美しく
■胃腸の調和を好くし
■心氣爽快に元氣を恢復し
■小兒の身體を強壯に致します
到る處の和洋菓子店、食料品店、雜貨店、小間物店等に取次販賣す 品切の節は直接本舖へ（振替又は切手代用にて御注文を乞ふ 大三個以上なれば送料無料）
本舖　東京神田和泉橋　堀越嘉太郎商店製菓部　振替口座東京一五六番

タングステン
用手廻捲鑛機及大マグネツト中根式鑛山機械は始政五週年記念物産共進會に於て賞牌一等狀三を授與され朝鮮唯一の鐵工界に於ける最初の受賞者たるの光榮を得
京城南大門通五　電話一〇四番　中根商會

井上博士　ロート目藥
サスト直グキク　定價二十錢　三十五錢　全國各藥店ニ有リ

寫眞
寫眞出張撮影
寫眞銅版、亞鉛凸版
最も熟練せる技術を以て最も迅速と叮嚀親切を旨とし御高需に可應候
京城日報社　寫眞製版部

次亞燐
世に知られたる現代最良の滋養強壯劑！
肥る　血をます　力をます　健康　長壽
賣捌各藥店に
本舖大阪　小西久兵衛

クスリはホシ
ホシゴノール
外用藥四十餘種各地藥店にあり
淋病・消渇　定價　二十錢、卅五錢、五十五錢、一圓

横濱　牛乳
純粹培養　ヨーグルト
場主獸醫肥塚正太
京城蓬萊町四　東亞牧場（電話五二一番）

Family Hotel.
本館は市の中央にあり土地高層庭内廣く閑靜にして宿泊及び宴會には最も好適す
佛國式料理　宿泊　宴會
京城南大門通三丁目
ファミリーホテル
館主　ミセス、ボーヌル　電話一二一八番

滋腎　田春丸
陰萎病並に神經衰弱に大効あり
壹週間分金七十五錢　三週間分金貳圓也　送料各二錢
東京銀座　岸田吟香　電話新橋六三番　振替口座四七七番

醬油の撰擇を誤るは年中の損
試み給へ關東唯一の絕品キハク醬油
釀造高全國に冠たり年額六萬二千石
最大の釀造高は最大の購買力に基けり
最大の購買力は品質優越の證
最上　醬油　（キハク印）
下總國野田町
茂木七郎右衛門釀造
特約店
明治町一丁目
牧野商店
電話二五三番

京城旭町一丁目
内科小兒科　入院隨意（普通病室並に隔離病室）
小林醫院
醫學士　小林千壽　電話六九二番

大日本優等清酒　ハツクル
品質純良　衛生無害　白鶴
攝津灘御影町　釀造元　嘉納合名會社
發賣元　京城本町二丁目廿番地　前田酒店　電話一三七番　振替口座四二五番

京城南大門外鐵道踏切側
今本醫院
電話二八五二番

營業品目
洋鐵、洋釘、鮮人向鍋釜
浪平板、亞鉛線、鐵條網
銅鎭鍮板及地金雜鑛類
直輸入卸商　㊝　福田又京城支店
京城南大門通三丁目　電話一二二番　振替京城二九二番

ペツプサイダー
ブドウサイダー
キリン印ラムネ
發賣元　平壤泉町　梶原商會支店

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城　朝鮮銀行
振替貯金口座京城三三二番
電話　長三三一、一〇六、一二六〇、六一三、一二六一
支店出張所　東京、大阪、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街
右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

くすりは山岸
諸官衙御用達
洋藥賣藥卸問屋
醫療及試驗器械
懇切叮嚀、迅速確實に市内配達及び地方通信販賣致居候
京城本町二丁目郵便局前　山岸天佑堂　藥品部　器械部　電話

池田季雄
イゲダ小兒病内科醫院
京城三越呉服店前へ入る旭町四丁目　電話（醫院一二三四番　自宅八八〇番）

京城日報　第三版

廿七日朝刊（夕刊と合せて八頁）

本紙定價　一部金三錢五厘　一ケ月金六拾錢……
廣告料　▲五號活字一行金七拾錢……
發行兼編輯人　兒田直（?）　印刷人　小川三之介
發行所　合資會社京城日報社　太平通一丁目
電話……

十二年前の今月今日

京城日報

本日は海軍記念日也。頭を回せば十二年前の今月今日は、實に日本海々上に於て、未曾有の日露大海戰の行はれたる日なり。

極東に於て、日露干戈を執て、互に相闘ぶや、我海軍は直に、仁川沖に、黄海に、蔚山沖に、敵の艦隊を膺り懲して、極東の海上權は、全く我掌中に歸し、陸軍をして、全く後顧の憂なからしむるに至るや、強大なる露國は、更に極東侵入を計畫せり。即ち日本海軍の、海上權占有は、勢ひ満洲地方に於ける日本陸軍をして、最も安全に、其の計畫を遂行せしめ、其の活動の自由を與ふるが故に、露西亞の此の極東侵入計畫は、當時の露西亞に取りては、尤も千萬なる企と云はざるべからず、されば萬一にして其の目的の遂せられたらんには、日本に取つては實に由々敷大事なるのみならず、洵に邦家の危期たりしなり。故に露西亞も八箇月間を準備に消費し、第二、第三太平洋艦隊卅八隻の、大遠征艦隊を組織し、一萬五千浬の鵬程を突破し、極東侵入を敢行せし次第也。彼がレツエリー軍港を出發する際の如き、露人は多大の希望と、満足とを以て彼等を送れり。然り此の航程の大なる、世界何人も其の大壯擧に驚けり、而して成否は、多大なる興味を以て注意せられたり。斯くてロヂエストウエンスキー提督の率ゆる此の大艦隊は、殆んど一閲年を海上に送つて、十二年以前の今月今日、決然として我對馬海峽を突破し浦鹽に向つて進航せんとしたり。

第一期の作戰を終り、第二期の作戰に入れる、我東郷提督の率ゆる帝國聯合艦隊は、此の大敵に向て、一擊を加へんとし、提督が部下に傳へたる、千載不朽なる「皇國の興廢此の一戰にあり」てふ信號、其の一語頗ぶる簡單なりといへども、丸家の興廢は、實に此の一戰にかゝりたる也。思うて玆に至れば、誰か慄然たるを禁ぜんや。然れども、我勇悍なる海軍將卒は、露西亞の此の大膽なる壯擧を、僅に一擧に粉碎し終んぬ。此の一戰に於ける露西亞の損害を、數字上に示せば三十八隻の艦隊中、れしもの二十隻、捕獲されしもの六隻にして、我損害は僅に水雷艇三隻に過ぎざる耳ならず之を實際に見れば、露西亞は此の一戰に於て殆んど海軍力の全滅を招き、北満洲にリネウイツチ將軍の陸軍ありと雖も戰局の大勢は最早奈何ともする能はず、遂には媾和の止むを得ざるに至りし也。

戰史の上より之を見れば、血沸き肉躍るの壯觀なるも、此の海戰の吾人に與へたる教訓は、永く吾人の肝銘忘るべからざるものあるを憶ふ。百年後乃至、千年後の今日、吾人は吾人の子々孫々が、常に此の教訓によつて得る所を以て、愈々益々奉公の大本を盡さんことを切望すると同時に、此不朽の記念日を大に祝福せざるべからざる也

漢江架橋

兼て當局者は、漢江に一大橋梁を架設し、京城を基點とし仁川、木浦釜山其他南部地方に到る幹線道路を連絡せしむるの計畫を立てたりしが諸般の計畫整頓したるを以て、愈々今二十七日漢江の畔に該架橋起工式を舉行するの運に至れり。新政以來產業振興の政策と伴うて、道路改修の事は、當局者の最も努力したりし所、今や豫定計畫五千五百里中三千五百里は既に改修を經、地方の交通狀態は、全く其面目を一新せり。但だ此の漢江に橋梁の便を缺きしが故に、折角完備せる道路も、其の効用を遺憾なく發揮する能はざりしが、玆に永久的なる橋梁の起工を見る。其の大正七年春に及んで竣工開通の曉に於て、斯橋が如何に經濟上軍事上偉大なる價値を發揮すべきや、殆ど測り知る可らざるものあり。幸ひに其の工事の支障なく進行せんことを祈り且つ祝福す。

製紙改良反響

各方面よりの照會來る

朝鮮の製紙改良に就ては屢次本紙に報道せし如く京城商業會議所が總督の意を享け極力調査に著手し爰に

△**鮮人紙商組合** に對して朝鮮製紙の改良に付き意見を求めたるに此程同組合會頭克□默氏より答申し來りたるが其概要を聞くに、製紙產額の減退せしは生產者が不當の暴利を得んとし劣等の原料を以て製紙を爲し之を市場に出すため漸次一般の排斥を受け遂には顧られざるに至りたるもの也、紙組合は夙に此點に著目して大正三年より各地に委員を派し改良の方法を講じたるが目下僅々八千圓の運用金にて財力不足を告げ居れば今後何一段の努力を要すべし各製紙業者の資金は大體十萬圓內外にして最近生產品の輸出額は十萬四千五百餘圓に達し居れり其仕向先は支那、西伯利亞方面なり以上は紙商組合の報告なるが更に全羅北道

△**茂朱地方金融組合** より京城商議所への照會によれば附近の鮮人の手に生產せらるゝ在來紙は數百種に達する取引は一部の鮮人紙商人に壟斷せられ從つて生產者の損害を蒙ること多大なれば京城に搬送して販賣せんとし適當なる委託販賣人の選定方を依賴し來りたり又

△**哈爾賓** モストワヤ街□川義韓氏よりも朝鮮紙の販路を擴張したしとて相當信用ある店舗の指名を依賴し來る等朝鮮製紙改良の前途に一縷の光明を認むるに至りたり、會議所は今後是等の答申若くは照會狀を根據として其體的の成案を作り製紙業振興の爲め貢獻すべしと

日本文化の淵源（七）

文學博士　物集高見氏講演要領

日本文化の淵源は印度に在り

聲明を讀む時には古の僧は皆樂器を以てした聲明は魏の曹植が初めたものである。曹植（曹操の息子）は豫て非常な佛教好きであつたが或時空中から非常に微妙な梵音が聞えたので仰いで空を見れども何物も見えぬ。但し唯微妙な音は何處からとも無く聞えて來る。即ち之を譜に作つた盧山の譜を初め漢讃の始めである。主旨は佛德讃嘆である傳はつて和讃と爲つたが其れ許りでは物足らぬものだから之に音樂を加へらるゝに至つた。私は多年此伽陀を探して居るが今に至る迄怎しても發見されない。併し是れ一說であつて事實は、釋迦が二千何百年前世に出で

▽**佛法を開いた** が其主意とする所は唯、出三界成佛の五字に過ぎぬ須彌山も地獄も極樂も皆是等は外道の初めたものである。一體釋迦は怎して其教義を廣めたかと云ふ事は古來其の道の學者間にも問題であるが之は伽陀即ち偈倘換言すれば歌に歌はせて教を廣めたものゝ例を引き解り易くして教を廣めたものである。其れが支那に傳はり日本に傳はりしたものである。一體佛語と云ふのは三藏の事で三藏は即ち經、論、律である經は梵語のシユダラで線條である線である伽陀に釋迦の稿が羅り其の伽陀と伽陀との間を續け合はせるものが經で即ち線條であり綴たのである

▽**後漢の頌梵語** から初めて四十二章經を漢譯する時シユダラを經と譯したのである。論は梵語のアビトンである、一切經中にアビトン論と云ふのがある或時釋迦が弟子を集めて曰く、我が死後二千四五百年も經てば外道が出て來て大地旋轉の說などを爲すであらう我れ其論を打破る爲めに一遺言を殘さんと言ひ何でも三箇條計りを擧げた。私は別に地動說打破論者でもなく寧ろ其信者なので今全部を記憶してもゐないが其中の一に曰く、石を取つて高く前方に投げれば其石は眈度前方に落ちる又後方に投げれば後方に落ちる若しも大地が動いてるものとすれば

▽**前に投げた石** が後方に落ち、後方に投げた石が前に落ちなければならない譯ではないか即ち地動說は虛僞である。と其樣な事がアビトン論に書てある其意は兎も角も要するに釋迦が其當時地動說を爲す外道のあつたのを打破した事でもあつたものらしい。一體此一切經は總て經、律が七種ある各種每に卷數なども異つてゐる。一見佛法の事計り書いてある樣だし其れに卷頭に佛樣の名計り三十餘りを書き並べてあるので大抵の人が根負けして讀む事をやめてしまふが其の內容は勿論釋迦の說つた佛法の事を書いてはあるが多數は外道の言つたことを書き集めたものである天文、地理、數法、音樂、馬術其他殆んどありとあらゆる事が書いてある

▽**五六千年前に** 於ける印度の文明史とも見るべく讀んで行くと仲々面白い事が書いてある羅馬の曆日、曆法の如き皆此處に芽ざしてゐる。要するに印度は東洋文化の淵源である。其の四五千年前の文化に就ては西洋人も驚いてゐる。併し印度及び支那の書物は甚だしく讀み惡いが上に非常に大部のものであるから一つの事物を索めるにも非常な時間と勞力を要するに依つて私は此の煩鎖を避ける工夫として群書索引を拵へましたが群書索引ばかりでは

▽**澤山の書物を** 持つて居る人でなければ殆ど其の効果が無い故に私は更に進んで廣文庫を編纂いたしました廣文庫を見れば宇宙間の凡らゆる事物は悉く之れに蒐集せられその故事出典が明らかに爲つて居ります（終）

▲訂正　前號伽陀を說明するに節博士が節を附して云々と記せるが節博士は節に巧みなる人の謂ならで恰も譜面の譜に似たるものを節博士と稱したるもの、筆記者の誤に付き訂正す

日報歌壇

□野末行き　向井青果
口ずさび──そが何なるか我れ知らず──口ずさびつゝ野末行く哉

□ひとり　平原氷花
年よりも素味なつくりを好む子と言はれて今日もひとり淋しも

□宵　村田比呂夢
空虛なる胸にしみ〳〵淋しかりすゝり泣きして春の雨ふる
宵の輕き藥切れの快さ風の光りて初夏に入る

日報俳壇

蝶子郎

鞦韆
ふらこゝ〳〵田舎に過ぎし能書の子　礎川
ふらこゝの我待ちに地に描く　竹水
鞦韆や硝子戸廣く誰が住める　北星
庭木折りて鞦韆子そこ去し　潮外星

雛
內裏雛は畑人の手に買はれけり　鈴風
雛の夜をさ廻立を降る小雨　同

畑打
畑を打つ主の事情知る馬よ　容堂
年々に缺け去る畑を打つ心　韮城
訪ふ人の畑打に出て子が留守居　麗水子

春雨
砂庭に眞土入れ替ゆ春の雨　韮城
春雨や人遠ざけて子に昔言　同
大風のあと春雨や町並木　幽谷
春雨や森行く水に渡舟待つ　東村
人に髯剃らせて眠し春の雨　義明

十六十六艦隊

斯くて日本の國防安全ならん歟

海軍少將　山口九十郎氏談

戰爭が軍器の進歩を促すは論する迄も無いが今度の戰爭に據つて潜水艦が受けた影響も少くない。然し動もすれば世人の誤解しようとする海軍の主力は依然として戰艦に在つて潜水艇には無い。陸軍に於て歩騎砲工の各科隊が必要であると同樣に海軍に於ても巡洋艦以下各種の艦船が必要である。而してそれ等が別個に其特色を徐々發揮して行く。今度の戰爭に於て獨逸に潜水艇が偉力を示してゐる樣ではあるが大局から見れば更に大影響を與へ得ない事は論する迄もない。要するに潜水艇を主として働かせようとする時期は受身の時である。

□**敵が其處迄來た** 時の事である。例へば敵艦が新嘉坡あたりに來たとか上海附近迄迫つたとなれば潜水艇襲擊の要も生じて來るものゝ、制海權の爭奪の爲めに堂々と戰ふ場合には依然として戰艦を主力とせざるを得ぬ。戰艦の強大は艦體の大小に據り其れは總て備砲の大小多寡に歸して來る。今日主砲の威力は十五吋砲であるが著彈距離は一萬六千米突ある一萬六千米突と言へば約十里に相當する。航海中何處からともなく軍艦の附近に彈丸が飛んで來たと思つて四方を見廻しても水天の間更に其影を發見しない。即ち

□**十里位の距離か** ら發砲したのだが發砲するに砲手には目的物が見ゑなくても橋頭で照準を定めて命ずれば濟む譯だ。仁川から京城迄は二十五哩と稱するが是れからは仁川から京城が狙擊される譯だ。朝鮮と滿洲とが現狀にある以上日本は陸軍を無視する事が出來ない。又日獨戰爭以來南洋方面に發展した日本は決して海軍を疎略にされない。北守南進だの陸主海從だの云ふ問題は既に問題でない。強いて問題にしようとすれば其論者の位置に依つて差違が生ずるのみで事實に於て

□**日本は海陸双方** 共に主であつて從でなくなつて來ねばならない。即ち金さへあれば海陸共に完全に設備しなければならないと云ふ事に成つて來る。然し日本には其樣に金が無い──と云ふ事に成つて來るが我々海軍側から見れば疑問議會で八ケ間しかつた八四艦隊の如きでは勿論役に立たない。八八艦隊でも完全とは言ひ得ない。十六十六艦隊位なければ我輩は日本の完全なる國防を引受ける事は出來ないと言ひたい現に米國の海陸軍大擴張案の如き著々實現に近づかんとしつゝあるが既に今日迄外交のみでさへも斷えず威嚇されて來たのに今後

□**大陸軍大海軍の** 出來ると云ふ事は日本にとり非常な威嚇である。而も今日こそ共同の大敵を有してゐる樣なものゝ戰後天下の形勢が如何に變するか知れやしない、愈々軍備の必要を感ずる譯である。軍備の伴はぬ外交に權威なきは今更言ふ迄もない。然し我輩は論客ではない一令の下に出動する戰鬪員である餘り論じない事にする。

サクラビール愛飲家の特權

發表以來僅に一ケ月餘にして
江湖の歡迎湧くが如く
豫定の箱數忽ちに賣盡す

愈々新綠の候各位益々御清祥の段奉賀候陳れば本ビール發賣以來平素多大の援助ごを與へらるゝ愛飲家各位の御厚誼に酬ん爲め破天荒大景品附賣出しを決行仕締切期間七月三十日限りの處發表後僅に一ケ月餘にして全鮮の人氣湧が如く豫定箱數以上に達し其割當不可能の處多く折角の御申込に對し乍遺憾御斷り申すの盛況を呈し候段全く各位の深厚なる御同情の賜と奉感謝候乍略儀以紙上御禮申上候

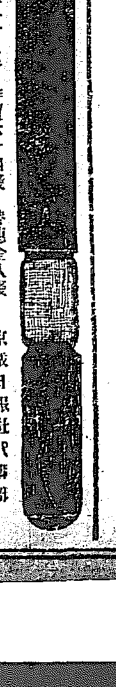
各位

愛飲家各位は是からです
賣切れぬ中御買入あれ
壹本宛買ても景品券が貰へる

サクラビール大景品附賣出以來各位の深厚なる御同情により景品附豫定の箱數は前記の如く既に賣盡し候も需要家各位に取りては（一打毎に景品券一本總額五千八百餘圓）今が御買入れの絕好機會は無之候何卒最寄販賣店にて御買求の上御愛飲の程伏而願上候

櫻麥酒代理店
合名會社 鈴木商店京城出張所

愛飲家各位
一打で最高景品八十圓
幸運者は一箱で最高四百圓
幕を閉さぬ中御用意あれ



タイヨー萬年毛筆
新案特許三六二一九八號
▲六月十五日迄　特價六十四錢　特稅金八錢
京城日報社代理部

大阪三品　▲二十六日後場……
仁川米豆取引所……

聖上士官學校行幸

卒業生の御前講演を聞し召さる

天皇陛下には二十六日午前九時三十分隨司侍從長御陪乘波多野宮相其の他の文武官を隨へさせられ陸軍士官學校卒業證書授與式に行幸あらせられたり之より先き同校にては與倉校長以下職員内外の準備を爲し鹵簿御出門の報あるや御先著の久邇宮邦彦王殿下を初め奉り長谷川村兩元帥大島陸相上原參謀總長其の他玄關前に整列し御著輦を待ち參らせたるに間も無く御著輦與倉校長の御先導にて便殿に入御先著の各皇族殿下に御對面高級武官に拜謁仰付られ與倉校長の御先導にて諸兵科卒業生六百五十一名を順次に御閱兵あり終りて設けの玉座に著御諸兵の分列式を覽はせられ右終つて與倉校長御先導にて第一講堂に於て左記卒業生の御前講演を聞し召されたり

攻擊に於ける各兵種の共同動作に就て　銀　重二
野戰砲兵の射擊法に就て　武田信男
航空機に對する野戰築城の施設に就て　荒川拓次郎

右終つて卒業生の劍術馬術を覽はせられ一旦便殿に御休憩後卒業證書授與式場に成らせられ左記十一名の優等生に對し田中侍從武官より恩賜の賞品時計を傳達せしめられたり

銀重二、荒川拓次郎、山本健兒、原田義和、寺田濟一、大森勇夫、森汲、武田信男、下田信夫、那倉義知、石川陸輔

因に今回の卒業生は步兵三百七十三名騎兵四十六名野砲兵百十八名重砲兵三十一名工兵三十九名輜重兵四十四名にして與倉校長は　陛下の臨幸を奉送後一場の訓示を爲し之にて卒業式を了れり（東京特電）

獨軍作戰悉く敗る

ヴエルダン各方面の大激戰

巴里來電に據れば、ヴエルダン戰は激烈の度を減ずる事なく行はれたり深夜發表の公報に曰く獨軍はモルトム東方に於て力強き攻勢を取り此處に同方面各砲壘各陣地に對し大激戰行はれたるが敵は重大なる犧牲を拂ひてキユミエール村落に侵入し猶ほ他の塹壕をも掩席せり二十一日以來モルトムに於て敵の使用せる精兵の數は三個師團以上に及ぶが如しオードロモン、ドーモン方面に於いて激烈なる砲戰と步兵突擊とを交互に行へり獨軍は兵士の損失を顧みず猛襲を敢てしたるが僅かに堡壘東方の陣地に足溜りを獲得せるに止まり西方及び堡壘自身に對する攻擊は總て粉碎されウーヴルに於て砲戰進行中なり又シャムベーヌに於て毒瓦斯の掩護の許に前進せんとせる敵の作戰計畫は我が砲火の爲め悉く無効に歸せり（倫敦電報）

經濟調查會

交通部特別會議

經濟調查會にては二十六日午後一時三十分より首相官邸に於て交通部特別會議を開き有地男、田男、湯河元臣、町口忠治、門野重九郎、林民雄、松方巖等各特別委員參集（一）現時に於ける船腹調節の方法（二）戰後に於ける我國海運の健全なる發達を期すべき方法（イ）航路擴張費用（ロ）海事金融を圓滿ならしむる方法（ハ）海事機關の整備（ニ）造船奬勵の方法（ホ）海員養成保護方法の兩議案に就き意見を交換せり（東京特電）

工場法施行期

二十六日午前十時より首相官邸に於て定例閣議を開き藏相遞相陸相を除く各大臣參集し内外政務を凝議し殊に過般來樞密院に於て審議中なりし工場法の施行令に就き樞府の修正に同意する事とし同法施行期を延期する樣の事なき見込也と言へるも樞府側委員會は施行法中不備の點少なからず勢ひ大修正の必要ありと爲し政府との交涉複雜となるべきを見越し廿六日逐條審議に及ばず政府の再考を求むる意味に一旦撤回を求むる事となり事實上否決同樣なれば施行期は或は延期の止むなきに至らんか（東京特電）

文科大學長交迭

二十五日京都帝國大學文科大學長左の如く交迭ありたり（東京特電）

京都帝國大學文科大學長　松本文三郎
依願免京都帝國大學文科大學長同教授文學博士　藤代禎輔
補京都帝國大學文科大學長

物集博士視察

物集文學博士は廿六日午前九時より篠田第一部長の案内にて箕子陵及び牡丹臺、乙密臺等の戰跡を視察し歸途平壤公立普通學校に立寄りて國語科教授法を視察し夫れより柳屋に於て晝食を爲し午後一時三十九分發列車にて京城に向へり猶博士は廿日午前八時より十時頃迄一般希望者の爲め揮毫を爲し鎮南浦に於ては約六十枚平壤に於て約五十枚を揮毫せりと（平壤電話）

關門と武富藏相

武富藏相は二十六日朝製鐵所を視察し午後三時より門司稅關を見同夜門司俱樂部に於ける門司市主催招待會に臨み春帆樓に一泊し二十七日午前九時五十分發列車にて歸東の筈（門司特電）

硬質陶器工場

東萊に設立調査

日本硬質陶器株式會社長松風嘉定氏は東萊に同社工場設立に付調査の爲め二十六日朝釜山著直ちに同地に赴けり（釜山特電）

ページー博士

故デニソン氏の後任として我が外務省顧問たるべく二十五日神戸入港の郵船香取丸にて來朝せる英人ページー博士は母堂並に令妹同伴二十六日午前八時四十分東京驛著列車にて入京せり（東京特電）

日置默禪師當選

久しく行き惱み居たる永平寺後董問題は選擧の結果日置默禪師當選せり（東京特電）

哈爾賓支店の開設に就て

勝田鮮銀總裁談

朝鮮銀行の哈爾賓支店設置に關し勝田總裁の談に曰く、哈爾賓支店設置の件は二十四日を以て總督府より認可の通牒に接せり、御承知の如く露領亞細亞に在住する日本人は其數既に鮮少ならず。又た兩國の關係日に親密の度を加へ來れるを以て吾人は更に進むで益々將來の發展に努めざる可からず、此處に於て本行は曩きに地を浦鹽に卜し、業務を開きて内外人の爲め專念便宜を計り來れるが同地は露西亞内地と密接し、北滿及び朝鮮に對しては稍々遠距離に位置せるが故に、更に北連絡地點たる哈爾賓を選むで此處に支店を設置し、彼我の連絡に遺憾なからしめて以て益々内外人の利便を計かむとするものにして、同店設置の理由を詳述せば尚ほ一朝夕にして盡きざるも結局此點に歸著す可し、而して同店の名稱は支店にして出張所にあらず、店長は既に内定せるも未だ發表を許さゞる事情あり、又た昨今漸く認可を得たる次第とて事務開始の期日は確かならざれど急遽人を派して準備

綿布輸入減退

内地品之に代りて移入さる

朝鮮人の衣服に用ひらるゝ綿布にして英國其他の外國より輸入さるゝものは明治四十四年度に於ては三百十七萬九千數百圓に達し居たるが昨年度末の統計によれば百五十六萬六千餘圓に減少したりと云ふ右は鮮人の需要が減じたる爲にあらずして歐洲戰亂の結果彼地に於ける製造の休止せること一面には近來日本内地に於ける織物業の發達と共に鮮人向の需要に適合したる綿布を製造して移入し來る者續出し品質價格共外國品に比し勝るとも劣らざる底の好成績を占むるに至りたる原因を最も主要なるものとす現に當地共益社に於て取扱ひ居れる綿糸布移入年額四百數十萬圓中過半は内地より鮮人向として來る綿布なりと云ふ又其一證とするに足るべし今總督府にて調査したる英國其他外國輸入綿布の累年總計を掲ぐれば如左

年次	數量（方碼）	價額
明治四十四年	[illegible]	[illegible]
大正元年	[illegible]	[illegible]
同二年	[illegible]	[illegible]
同三年	[illegible]	[illegible]
同四年	[illegible]	[illegible]

既に回復の曙光を見る

西鮮地方の經濟界

村田東拓理事談

▲昨年の農工資金界　昨年の農工資金界は太だ景氣が惡つた、本社（東拓）の金融事業も從つて此影響を蒙り、貸出金額も百三十萬圓位のものであつた、東拓としては益々手續を簡易敏捷にし、拓殖資金需要者の便宜を計ると共に、未だ東拓金融事業の事を知らざる人々に向つて之を周知せしむるを計る等幾多の改良を加へ、單り東拓のみならず、朝鮮開發の爲め百方盡すところがあり、又資金を蒐集することについては昨年の夏内地の資本家と既に融合を付けて拓殖資金を融通せしむる事に努めたが、何分米價並に地價の安い事と、又その安い事が續いた爲め不時打擊を受け農業界は餘程打擊を蒙むつたるが如く、加ふるに歐洲戰爭のために事業を起すことを手控への風が波及し來つた爲めに、益々沈衰を極めしめたのであつた

▲景氣催し來る　然るに今回地方を回つて見ると、此の農業界の狀況は、大分變つて來たやうで、土地は何の地方と云ふ譯もないが、或地方によりてはポツリポツリ碁の捨石を置いた如うな形にて、景氣を有ち來つて居る、全體の趨勢も良くなつて來たやうで、景氣付いたとは言へぬが回復の曙光を認め來つた、言はゞ芭蕉の句に

春景氣稍整ひにけり梅と月

と云ふ趣が現はれて來て居るやうに思はれた、斯の如く復活の曙光を認め來りしは何故かと言へば、下落すべきものは下落し切り、之に對する備へも略々成り、所謂落付くところに落付いたとも云ふべきことも、其の一因であるやうに思はれる又内地の好景氣の影響の及んだと云ふことも其の一因たるが如くに思はれる、今回の戰時經濟の狀況は内地よりも半年餘後れて波及する如くに思はれる、戰爭の初まりたてに、内地が騷いだ時には、半島の農工資金界には左程の影響がなくて、内地には非常な景氣が付いた時にも、直に之が及び來らず、漸く此頃になつて半年前の影響を蒙むるやうになつた、内地は引續き好況であるから、朝鮮の農業界土地界も特別異常の事のない限りは、之より多少景氣を得て來るであらうと思はれる、

▲水利事業と東拓　水利組合には東拓は大概資金を融通して其の成立を扶けて居るが、其内金海水利組合の如きは來月早々竣工式を舉げることゝなつて居る、浦項水利組合も亦今年の植付までには通水が出來ることゝ思ふ、大正水利組合への貸付も略々定まり、今年よりは此事業を愈々始めるやうになつた、今度自分が廻つた地方中にも、廣く知れぬ處にて、水利組合を設けて最も有利と思はれる幾千町幾萬町步に近き平野を見た、當局に於ても是等の地方に水利事業を設けることは既に考へて居られる如うである故に、近き將來に於て其舉を見るかも知れぬ東拓に於ても之等の事業に資金を供給し、出來得る丈けの力を盡す積りである

▲鑛業の發達　又今回旅行中に於て、鑛山業が盛なるは勿論之が精錬製造の業も益々發達しつゝあることを見た、久原の精錬所は既に其業を始めて其の爐を增加しつゝある、兼二浦に於ける三菱の製鐵所も溶鑛爐の土臺を作りつゝある、之等の事業に伴ひ、或は是等の事業が動機となり、幾多の工業が又將來起るだらうと思はれる、紡績業の如きは既に其計畫を爲せる人もあつた、之等の事業が發達して來れば朝鮮の爲めに有利なるは勿論、東拓の金融業も亦益々其本分を廣く盡すことが出來るやうになるであらうと思はれる

司法官招宴

總督府司法部發起となりて二十九日午後七時より花月に於て饗宴を開き目下開會中の司法官會同列席の各司法官を招待歡迎の意を表する筈なるが猶ほ主人側として總督府並に所屬官署主なる高等官も出席す可し

勸業債と朝鮮

朝鮮に於ける勸業債券の賣出しは内地同樣去十六日より各郵便局所並に十八銀行各支店にて之れを開始し相當賣行きありしも内地に於ける景氣盛んなりしと見え二十二日既に四百萬圓を賣切りたる旨勸銀より電報ありし何れも其後の賣出しを停止し居れるが一度郵便局にて受入れをなし勸銀にて受入外れとなりしものも少なからず其の應募額約一萬圓内外ならんと

官立學校時間改正

京城府内にある官立各學校にては此程總督府に於て校長會を開會し始業時間を左の如く改正したり

三月一日より同卅一日迄　午前九時
四月一日より同卅日迄　午前八時三十分
五月一日より七月卅一日迄　午前八時
八月一日より同卅一日迄　午前七時三十分
九月一日より同三十日迄　午前八時三十分
十月一日より同卅一日迄　午前九時
十一月一日より翌年二月末日迄　午前九時三十分

愛婦軍隊送迎

愛國婦人會朝鮮本部にては京城府と聯合し四月十八日以來龍山停車場に接待所を設け第九第十九師團交代軍隊の送迎に努めつゝありしが右は二十六日六十九聯隊第一大隊の歸還に對する歡送を以て終了したるより直ちに接待所を撤廢せるが其間の送迎は前後二十六回に及べりと

郵貯利子決算終了

大正四年度の朝鮮郵便貯金利子決算は四月一日より管理所に於て實施中なりしが一兩日中に全部終了すべく利子總額約三十萬圓に上れりと

◎京畿道管内會社工場數　最近調査に依れば實に三百五十の多きに上れり而して其の種類の大部分は煙草會社工場精米所菓子製造所鐵物所陶器製造所等なりとす

人事消息

▲物集文學博士　廿六日夜平壤より入京天眞樓
▲森騰氏（辯護士）　入京中の處二十六日夜退京
▲永田包雄氏（咸興典獄）　二十六日午後入京南大門旅館へ
▲中村倫男氏（公州典獄）　廿六日夜入京不知火旅館へ
▲阿部吾太郎氏（大邱典獄）　廿六日夜入京東京旅館へ

南言北語

フオン、ビユーロー公がベルンスドルフ伯に代つて駐米大使になるとか傳へられて居る▲滅多に面白がられぬ言子も此奴には聊か頸を捻らざるを得ない▲獨逸で能く媾和風を吹かすのはビユーロー公で先達駐獨米大使と密會して媾和說を流布したのも此の人だ▲若し米國が媾和に頭を傾けんとせば獨探の親方をやつて居たベルンスドルフ伯では何うしても面白くない▲然らば何人かと云へばビユーロー公を措て他にあるまい▲斯う考へて見ると益々頸を捻りたくなるぢやないか▲ビユーロー公が百人米國へ行つても聯合國の決心が動かぬ以上はナーにまだ前途は遼遠サ▲併しビ公の米國入が眞實とすれば之れはたしかに注目すべき問題である▲慾の皮の厚い海運業者が船腹不足の爲め軍艦を商船に使ふから貸して呉れと海軍省に申込んで小氣味能く刎ね付けられたのは痛快だ▲而も相當知名の紳商連だとは呆れて物が云へぬ軍艦を何と心得て居るのだらう▲斯う云ふ手合は船がほしくば乘せて行つて南洋へ棄てゝ來るが好い▲伊東知也君曰く頭の禿げ方には借禿と貸禿とある▲借金許りして居る者は申し兼るが今少しお待を願ひたいと頭の中央を撫るから禿方も中央から始まる▲所が貸して居る者は何うも困るぢやないかと額から撫上るから矢ツ張り額から禿上る▲吾輩は近頃メッキリ中央から光り出したので悲觀して居るは相變らず罪のない男だ▲お心當りのお方はないかね▲或人が外務省に小村欣一君を訪ひ煙草を喫まうとして燐寸箱を明けると一本もない▲小村君すかさず「日本の外交もそんな樣なものだ」は大に振つて居るが▲蓋し諧謔か告白か

伊太利軍優勢公報

羅馬來電公報に曰く敵はガルボア、チゲリカ河の間に兵を集めつゝありしがアスチコ、ブンタ及びダアル、スガナ間に於て敵の攻擊を擊退せる後秩序整然として漸次本防禦線に退却したりコルデポ市上流に於ける伊軍は重要なる陣地を奪取し捕虜五十名と多量の軍需品を得たりゴリチア、モンフアルコン方面に於ける我が砲兵隊の活動は益々猛烈となれり（倫敦電報）

河南北部紛亂を極む

河南北部は紛亂の極に達し土匪は鋭利なる武器を携へて横行し人質を取りて金錢を强請する事盛んに行はれ袁總統の親族の居住する安陽に於ても三十人の富裕なる住民を捕虜となし百五十萬圓乃至千圓の身受金を要求せり住民は租稅を收めざるも知事は時節柄警察力に訴ふるを躊躇し居れり（濟南特電）

大阪たより

[illegible]府下竹野郡濱詰村の人宮津水產講[illegible]の催して之がために我國の製艦事業に[illegible]り差當り三千噸分の資金をなしたる[illegible]一般に[illegible]居れるため小資本の船主は大型木[illegible]にして一般に[illegible]を聊ちをれり

大正四年　大阪電氣分銅會社

[illegible]れども現實にコロン[illegible]に襲來するけ[illegible]本月末頃ならんと

朝鮮總督府巡查受驗提要

朝鮮總督府警務總監部警視　法學士　永野清著
特價四十五錢　送料八錢
京城本町　振替　電話

本書は朝鮮總督府巡查志願者心得、參考法規、刑法、刑事訴訟法、警察法、朝鮮地理等採用試驗に必須なる各科目に簡明なる說明を付し且最近の採用試驗問題を蒐めたる受驗者必讀の良參考書たり

日韓書房

新版報告

日置默仙著　無一物處　定價一圓　送料六錢
朝日新聞社　野球年鑑　定價三十錢　送料八錢
森岡幸次郎著　平面幾何學智識之整理　定價六十五錢　送料八錢
岩田久吉著　代數學智識之整理　特價六十五錢　送料八錢
中學會編　入學準備　系統的算術　定價四十錢　送料八錢

京城本町二丁目　朝鮮振替　電話

中學世界

元氣潑剌たる六月號　定價一冊二十三錢　郵稅二錢　前金（八冊一圓八十三錢　十二冊二圓七十錢）郵稅共

騎馬將軍　吳鳳の事　小波
東京通信　長谷川誠也
蘊蓄（新學生訓）　三宅雪嶺
電氣火花の發見　庄司
地球以外に生物ありや
五十三次　無錢旅行　伊藤銀月
高等學校受驗生へ申上たき件々
駒園を增さんと望まるゝ諸君へ
忠君愛國と思想
小說
謎の一人か三人か　江見水蔭
厄介な荷物
珊瑚を碎く
諷刺　先生と生徒
神が戯れに拵へた昆蟲標本
續々珍發明案と珍懸賞新題提出

東京本町　博文館

農具　蠶具　肥料

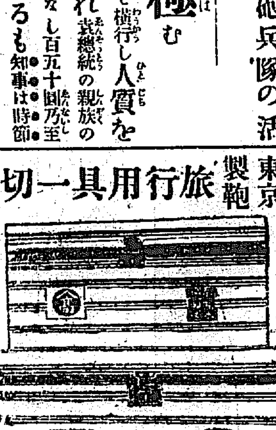
各種

□農蠶界の盛季來る

業務擴張　品質精選　廉價を以て　營業内容　御需用に應ず可く候

京城南大門外　朝鮮勸農株式會社販賣部　電話四一三　振替口座三七八番

東京製鞄　旅行用具一切



御徳用の支那鞄　製造一手販賣大勉強

京城本町二丁目　高木旅行用具店　電話一三四番

敵遊艇部海軍技手瀬尻房藏氏(三一)は海軍探照燈の金屬製反射鏡を發明し特に勳八等に叙せられしが同氏は京……完全なる光輝強き金屬製の海軍探照燈の金屬製反射鏡面を完成したるも……たるが支那關係意の如くならざる爲め資金調達に窮迭ることゝし露國よ……

大阪期米特電

▲木進前の……　三二〇　一四〇〇

▲後場跳返す

▲大阪の盛行　……は既報の大阪鐵工所を始めとし藤永田……且つ價格の暴騰し……動により一流以下殆んど半休の狀態……

三菱大阪製煉所　大正三年

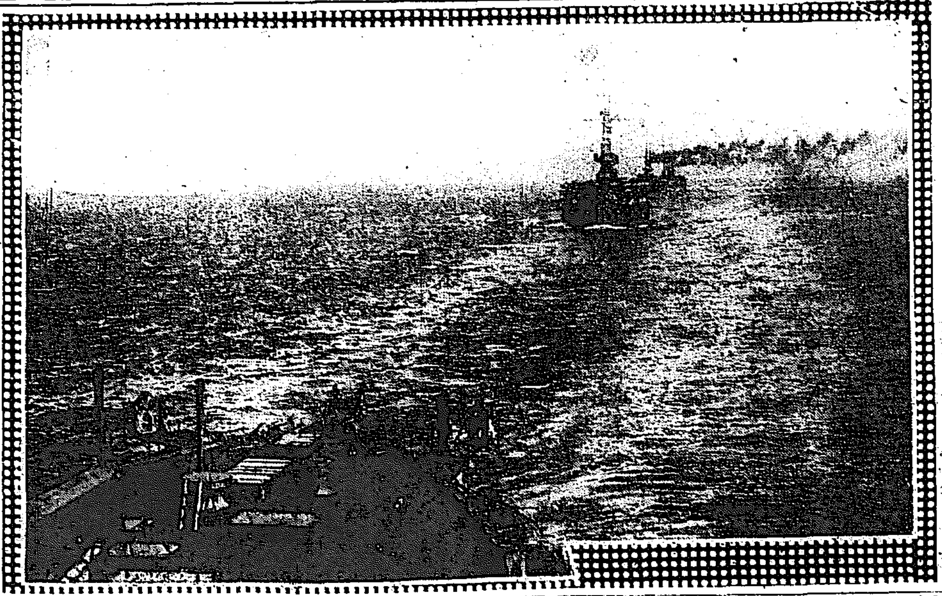
地方もあり氣候適順にてムンスーン襲來の兆漸く顯著となりつゝあり然

勇敢なりし敵艦隊

日本海々戰の回顧

「十二年間に於ける我海軍の進歩」

海軍少將　森義臣氏談



敵艦見ゆとの警報に接し我聯合艦隊は之を邀擊せんとして舳艫相銜み根據を發す

日本海々戰から最早十二年に爲るが此の間に於て各國の海軍は頗る長足の進歩發達を遂げた日清戰爭から日露戰爭迄の十年間に在りては各國の海軍は共に多少の進歩を爲しつゝありしが日露戰爭後に於けるが如き著しき發達を見なかつた日露戰爭當時に於ける

▽我海軍の精英は

云ふ迄もなく旗艦三笠で有つたが、現今にては三笠級の軍艦は戰鬪艦としては最早有力のものでは無くなつた日露戰爭が濟んでから英國はドレットノート型の軍艦を建造した三笠級の軍艦は主砲として十二吋砲四門六吋砲十四門を載せて居つたが弩級戰艦になると全巨砲式と稱して悉く巨砲を搭載する事になつた其の主砲も漸次巨大に成つて來て現今では十五吋砲まで進んで居る我海軍で一番大きな軍艦は戰鬪艦扶桑であつてオールビッグ、ガン式の超弩級艦である之れからの海戰は斯くの如き巨砲を有する巨艦と戰鬪力に於てはそれよりも稍々劣つて居るが強力の優越なる巡洋戰艦とを中心として戰ふので有つて從來の如き軍艦は大海戰を爲く迄の補助艦たるには必要であるが

▽いざ勝敗を決す

るといふ場合には如何にしても此の超弩級の戰鬪艦と巡洋戰艦とを以て雌雄を決しなければならぬと爲つた、卽で我海軍も此の世界の趨勢に鑑みて八八案を議會に提出した八八案とは此の巨艦八隻と巡洋戰艦八隻より成る主力艦隊を作る案であるが經費の關係上八、四に改めて議會の協贊を經て居る八四とは卽ち戰鬪艦八隻に巡洋戰艦四隻より成る艦隊を云ふのである之れとて

▽來年度豫算に於て

決定するのであるが何にせよ一隻の建造に三千萬圓餘を要するから却々容易な事ではない。日本海々戰の起る前二十日頃から二十六日までの日本海軍の苦心は一通りでは無かつた彼の遠來のバルチック艦隊は一度浦鹽に這入て艦の修理を加へ士卒を休養せしめた上で堂々と打つて出づる目的で有たが我海軍は之れに反して彼等を浦鹽へ入れしめず遠來疲勞の途上に邀擊して之を殲滅せしむるを以て目的として居つた其艦隊が浦鹽に這入る海路は對馬海峽津輕宗谷の三海峽であるが此の內對馬海峽は浦鹽に達する最捷路にして且つ水道も其の幅員最も廣きを以て多分此の海路を採るならんと推想しては居たものゝ彼の渺茫なる海洋の事故萬一他の水道を通過するが如き事有ては之迄の苦心は水泡に歸するを以て

▽常に哨艦を派し

て怠らず警戒して居つた敵の艦隊が安南を發して北上したる迄は我商船などから時々報知が有つたが其の後に至つて杳として消息を絕つて居つた、處が敵艦隊の率ゐて居る載炭船が一隻上海に寄港したと云ふ報知が來たので愈々對馬海峽を通過すると云ふ事丈けは分つた。此の時我主力艦隊は根據地を鎮海灣に置き全羅南道濟州島と肥前五島との間の線に多數の哨艦を配備して

▽敵艦隊の動靜を

探らしめて居た愈々當日二十七日午前五時頃哨艦信濃丸から敵艦見ゆとの報告を受けた。長い間苦心に苦心して來た我海軍の將士はやつと胸を撫で下す思ひに、同時に出動の命が下つた此の時まだ敵が何の方面に現れて來るか不明であるから萬一宗谷海峽でも通過する事になれば全速力を以て長驅之れを擊破しなければならぬから各艦共に能ふ限り多量の石炭を積込んで居つた或る艦の如きは寢室に一杯積込んだ上に甲板の上にまで石炭を積んで居つたが愈々敵艦隊對馬水道を通過すると云ふ事が確まると甲板上の石炭は働くにも邪魔である、敵彈でも受けた際に危險であると云ふので之を投棄しながら出動した艦もあつた事に角

▽戰鬪準備を爲し

ながら全速力を以て敵艦を指して驅走して居つた一方に於ては敵艦隊が何れの水路を取るかを知る爲めに和泉丸をして敵の動靜を搜らせて居つた和泉丸は敵の射距離を離れて之れを監視しながら尾して居ると敵の殿艦は屢、和泉丸を追擊したが其の艦隊に後るゝを恐れてか引返し引返し爲て居つた其內に敵の艦隊は

▽對馬東水道を通過

せんとする事が判つて來たから我艦隊は之れと二角形に沖の島附近に遭遇する事を豫想した敵は戰ひ乍らも一步一步北進して我は之れを北より南に壓して其の行路を絕たんとする計畫である此の日、海上霧立籠めて遠く展望するに不便であつた午後一時四十五分豫想の如く沖の島附近に於て待ちに待ちたるバルチック艦隊は遂に視界の內に發見した一時五十分頃先づ敵艦より砲火を開きたるも我艦隊は未だ沈默を守りて發せず進んで六千米突の射距離に入り我艦初めて發砲す之れより彼我勢力の艦隊互に必死となつて猛烈に砲擊す砲煙漸く甚しく海上は俄かに火と煙と叫喚の巷

▽修羅場の光景を

現出せり。予は此の時第一戰隊の朝日に航海長として乘組みつゝありき予は戰鬪艦なぞは却々砲彈位で破壞せらるゝものでないと思つて居たが此の時始めて砲火の偉大なる事を目擊した敵の旗艦スワロフは砲火を交へてより約一時間ばかりの後に全艦隊火焰に包まれて進退の自由を失つて隊から離れて孤立して居つた朝日は其の艦側を通過しながら二千五百メートル位の處から之れを猛射したが此の時スワロフは

▽艫檣も烟突も折

れて終つて艦內からは盛んに火を吹いて全く戰鬪力を失つて居つた此の時既に感ずべき悲壯なる擧動を敵艦に於て發見したそれは旗艦スワロフの艦尾に在る艦長室から三吋位の小砲が頻に放つて居つた此の砲は水雷艇位を射る砲であつて既に沈沒同樣の艦から斯んな小砲を放つた處が大厦の倒るゝ時の一木よりも弱く憐むべき戰力であるが之れが露西亞魂の發揮とも云ふべきであらう大勢の如何に關はらず最後まで自分の部署に就いて奮鬪努力して居るのである然るにも其の三吋砲の彈丸は偶然にも我が朝日の司令塔に命中した元來司令塔は艦長、水雷長、航海長等の重要なる幹部と航海其他艦の運命に關する重要なる機械を載せてある處である故に其の構造も厚き九吋位の鋼鐵を以て張りたる

▽極めて堅牢なる室

であつて砲彈位では容易に破壞されぬ處が此の三吋の小砲彈は何うした機にか僅ばかり開いて居る司令塔の屋根と壁との間から室內に飛込んで操舵中の下士二名、傳令水兵二名を斃し其他二三の負傷者を出した、此の時艦長水雷長及び予等は激戰なるに連れて司令塔內に在りては號令に不便なるを以て艦橋に立つて指揮して居つた恰度其時我艦隊は

▽一齊廻頭を行ふ

時で有つたが朝日ばかりは廻りかけて止つたから此れはと思つて電話を掛けて聞くと操舵手が斃れたと云ふので直ちに他の兵士をして代らしめたがスワロフの三吋砲は少刻我驅逐艦が止めを刺す爲めに水雷を發射して全く沈沒して終ふまで發射を續けて居つたとの事である此の小砲彈の爲めに……れて困つた艦もあり又死傷者さへ出した斯くて敵艦は漸次擊沈されたが何分渺茫たる海上の事であるし……までには行かない內に日は早くも暮れんとして居た我艦隊には夜戰は不可能であるから戰鬪力を失つて隊列から離された敵艦の攻擊は之れを驅逐艦に委ねて我艦隊は逃ぐる敵を逐ふ事に爲つた敵艦の目指す處は浦鹽であるから我艦は之れと共に

▽北を指して終夜

全速力を以て驅走すれば翌朝再び敵を南に見て之れを擊滅する事が能きる此の時午後七時三十分夕陽赫さして火海血波に沒せんとして波上には數多の敵兵が漂浪して救を呼ぶ聲洋上に滿ち實に淒慘の極であつたが未だ〳〵之れを救つては居られぬ愈々艦隊は砲火を收めて逃ぐる敵艦を逐ふ事になつた此の時ボロヂノーは

▽炎々たる火焰を

揚げて居つた夜に入つても猶ほ火焰は盛に燃えて居れば水雷艇の襲擊に好い目標になるなどと云つて居る內に最後に我艦から擊出した一發の砲彈の爲めに見る間にボロヂノーは其の姿を沒し去つた夕闇迫り來る海波の上に蔽つて戰鬪の跡は僅に海軍の上に降つた（終）

◉遊廓に女紅場

薄命に泣く娼妓の福音

京城新町遊廓組合には四百三十名の日鮮娼妓あり彼等が朝鮮三界まで遊び來りて浮き川竹の底に身を沈め闇より闇を迎る

▲暗き運命に　泣きながらも多年の習慣は日常の起居動作の一端にも動もすれば放縱性の現はれて婦女子として必要なる心得を養はんなどの考へは無く唯無意識に日を送れる觀あり、斯くては他日落籍なる機會に出でたる場合に於て正業に入る事も叶はず、又人妻としての勤めを完うする事も能はざるべく

▲折角苦界を　脫しながら再び墮落の底深く陷るべきを思ひ宮本町署長は豫てより種々考慮を廻らし居りし所今回新町遊廓內に女紅場を設け娼妓出稼業をして作法、裁縫、活花、編物等の外精神修養に關する教へを受けしむべく計畫せるが右に就いては既に組合內に於て三十餘名の娼妓が自から是等の

▲修行を實行　し居れるものもあり、又希望者も可なり多ければ遠からず實現するに至るべく朝鮮に於いては咸南咸興に小規模の女紅場あるのみにして殆んど之が嚆矢なれば此計畫の實現によりて薄命に泣く娼妓の享くる幸福は尠からざるべし

◉雲突く強盜に出遇つたとは

眞赤な僞はり

京城御成町日稼金松王(二十三)は二十日所持金一圓餘を遺失したるより大騷ぎをなして所轄本町署に出頭し二十三日午前三時頃南米倉町朝鮮銀行舍宅脇の細路次を通行中洋服姿の雲突くばかりの一人の大男現はれ所持の財布を强奪して逃走したりと訴出でたるも其申立てに曖昧なる點あるより係員嚴しく詰問せしに全く狂言的に虛僞の申立をなしたることと判明し管刑處分となりたり

◉大惡僧龍雲の死刑確定

強盜凌辱殺人強盜にて死刑の判決を受けたる稀代の大惡僧大米龍雲(四〇)は東京控訴院の判決に服せず大審院に上告中なりしが二十三日上告は理由なしとして棄却され茲に同人の死刑は全く確定したり（東京）

◉才泉作品展覽會

松寺檢事正外數氏の後援にかゝる島田才泉氏の作品展覽會は二十七八の兩日朝鮮銀行樓上に於て開催さる可く出陳點數は紙本絹本取り交ぜ約二百點の外短冊、扇面等無數の小品物ありと

◉辻氏洋畫展覽會

京城ホテルにては二十七八日の兩日午前八時より辻ふみを氏の洋畫展覽會あり賛助員には小宮、小松、野田、金谷氏の諸氏ありて作品二十餘點何れも面白し

◉參加勇士懇話會

二十七日は海軍記念日なるより同日午後三時より南山本願寺に於て海軍記念祝賀會の催しあり尚ほ同日午後七時より明月館に於て日本海々戰參加の勇士にて京城在住者海軍大尉仙波鶴士海軍少尉長谷部鐵藏士な始め其他約二十餘名一堂に會し日本海々戰追懷談會を開き各自懇親談話を交はす筈

◉櫻麥酒賣出盛況

朝鮮委託櫻麥酒の大販賣元大島商會にては發賣以來多大の盛況を喚起し稀に見る賣出期間七月三十日限りの處賣出後僅かに一箇月にして豫定の箱數に達したるが一般需要者に於ては一打毎に景品券附きにて今が最も買入れの好機會なりと

東京大相撲

廿六日午後東京支局特電

△九日目の勝負

勝　　　負

常の花（こてなげ）神錦

國見崎（より）國ケ岩

土州山（すくひなげ）稻葉嶽

千年川（より）朝緑

寒玉子（おさへ）近江富士

四海波（より）鳴門洋

荒玉（預）櫻川

千葉崎（だし）龍ケ崎

敷島（だし）梅川

大の川（分）黑瀨川

鶴渡（だし）逆鉾

栃木山（より）浦の濱

九州山（きり）伊勢濱

大錦（つきだし）大鳴門

西の海（より）大蛇潟

▲中入後

藤の川（だし）宮城山

濱砂石（だし）玉の川

岩木山（だし）柏戸

稻の穗（より）紫雲龍

大戸平（だしなげ）宇都宮

玉手山（うわてなげ）小常陸

紅葉川（つきだし）源氏山

石山（すくひなげ）釋迦ケ嶽

朝潮（つきはなし）兩國

太刀山　對馬洋

右の內▲龍ケ崎に千葉崎は何の雜作もなく突き出して千葉の勝▲稻葉嶽に土州山は稻左矢筈にて押進むを土州殘しつゝ二本差して一流の掬ひ投げ美事に極りて勝▲梅川に敷島は烈しく突き合ひ梅突き進むを敷殘しつゝその左手を手繰つて振切らんとする所を透かさず反對に攻勢を執り突き出して勝▼朝緑に千年川は左四ッ吊身に寄り切つて千年の勝▼大の川に黑瀨川は大突き掛けては引き落さんとし或は肩透かしを試みしが黑よく殘して左四ッに渡り黑吊らんとするを大の殘して水となりたるのち双方隙を窺がふのみにて互ひに仕掛けず遂に引分けは大相撲なりき▲近江富士に寒玉子は寒が上突張りを連發し近江のダチログ所を引き落して勝▲逆鉾に鶴渡は鶴右を差して寄り進み逆の堪ふる所を左上手より十八番の突き落し美事に極まつて勝▲四海波に鳴門洋は鳴門の出バナを四海ハタイて左四つ宜しく花相撲式にバタ〳〵やつてトド四海押切る

▼栃木山に浦の濱　は好取組なり栃木左を當てゝ押さんとするを浦堪へて左四つとなり栃木の鋭く寄るを浦土俵を廻つて殘し右上手を引かんとするを栃木引かせず鳥渡捲き落しを見せ浦の腰を挫き自分の腰を落して寄切り栃木の勝は大喝采

▼九州山に伊勢濱　は伊勢立ち上りさま懷ろに突いて押進み九の殘すを引き落さんとしたるが九殘して左を差せば伊勢その手を片門に撓めて蹴返しつゝ後ろへ切つて取らんとしたる九殘し伊勢の後ろ腰となるを透かさず寄り倒して勝は喝采

廣告

來る廿八日午前十時より小石川明月館に於て揚州竹西女史兩齋伯の作品展覽會を相催し候間御繰合是非御來觀の榮を賜り度御案內申上候

發起人一同

▼大錦に大鳴門　は鳴門敵の出鼻をその右手に引きかけんとするを錦心得てその手に乘らず左手を取つて唯一ト突き突き出して錦の勝

▼西の海に大蛇潟　大蛇の出ハナを西ハタき左四ッにて寄切り西の勝

△中入後

▲藤の川に宮城山は右四つ寄り倒して藤の勝▲玉の川に濱砂石は玉の下に入らんとするを押し倒して濱砂の勝▲岩木山に柏戸は柏の出ハナを岩木蹴返し柏の殘すを透かさず突き出す▲紫雲龍に稻の穗は右四つにて突き合ひ遂に寄切つて稻の勝

▲宇都宮に大戸平　双方好成績の元氣同士なりガツキと右四ッに渡るや大戸左り上手を取つて宇都の出ハナを出し投げ美事に極り大戸の勝は喝采

▲玉手山に小常陸　は小常頭を下げて突くを玉も同じく頭を下げて突き合ふ內玉右を差すを常捲きかへて左り四つとなり寄らんとする出ハナを上手投にて玉の勝

▲紅葉川に源氏山　は紅葉機先を制して隙間なく突張り遂に突き出して勝

▲釋迦ケ嶽に石山　は石左を差して寄り進み釋迦が小手投を打たんとするを綺麗に掬つて石の勝

▲兩國に朝潮　は當日の好取組なり双方の呼吸合はず立合ひに手間取りしが漸くにして立ち上がるや朝素早く双筈に構へて刻み足に押進み兩が土俵際に右手を引きかけ左足を搦んでかけ投げに行かんとするを朝透かさず横からトンと兩土俵を割り朝の勝は立派な大關振りを示せり

▲對馬洋に太刀山　は對馬何か注文ありて容易に立たず仕切直し待つたの數を重ね漸くにして立ち上がるや對馬の突きかゝる右手を太刀引張り込み右手を筈に當てゝ强引に割り出して押進み對馬が土俵際に殘さんとするを右手にてトンと突き放して勝にて打ち出したり

京日案內

普通（一回前金三十錢無割引）（匿名一回毎に金五錢増）
番外（一回前金六十錢無割引）（匿名一回毎に金五錢増）
▼申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず

普通

有給外務員採用　最も高尚の事業希望者履歴書携帶本人來談あれ　京城花園町一二三帝國圖書普及會支部　405

◉古本高價買入　蛍雪堂の勉强是非御試しを乞御報卽刻參上　▲京城本町四電話一七八一番　群書堂　199

▼古本雜誌反古誠實買受自賛せず既に本町二電二五二七　信用と實力有　ウツボヤ書店　158

▼最新流行粹なはやり歌▲軍歌唱歌等色々取揃有　本町二電二五二七　ウツボヤ書店　158

◉貸家　煉瓦造二階家屋數棟低賃にて貸す　京城長谷川町五八番地ゴルシヤルキ　491

竹木陶器大理石銅眞鍮化學應用無刀彫刻法傳授　壹圓送れ直に郵送す　大田(大田驛前)　石原米藏　455

番外

◉貸家　官吏向家賃格安　◉漢陽公園南裏三坂通閑靜　管理者　舊龍山印刷局の先　畑中　483

これからが下痢の時季　赤玉は第一特効藥　京城旭町一　淺野樂天堂　304

京城春川間　合乘自働車　賃金片道四圓　◉京城發午前八時◉春川發午前九時　京城水標橋通り　電話貳壹參八番　京春自働車商會　支配人　松田壽男　50

盛花家元　明治町本通　春道齋

轉居　黃金町二丁目四十八番　辯護士辯理士　赤尾虎吉　事務所　右記へ轉居致し候　電話一六三九　499

◉恩給五年迄◉年金四年迄　抵利　其他日獨役一時賜金通帳高價買受　卽時　御立替　京城永樂町一丁目商品陳列館表門前　江州屋　本店　456

◉電話口消毒器　賃付販賣　▲遞信省認可▲專賣特許　朝鮮特約一手發賣元（電話一四三五）京城黃金町電氣器御商也商行電氣部　461

重石買入　及鑛山溶液機械製作取次　京城南大門外岐阜屋旅館內　電話一五一七　坂本出張所　469

りん病三日藥　輕症日全治　家傳の妙藥不思議の効驗あり　服んで卽日　發賣元　京城明治町二丁目四二明治旅館事務所（電一〇三五）　木幹ケイ　473

調査　信用、財產、入事、入札、委托、賣買、貸借、其他　京城明治町二の三　電話七一七番　振替三五九五番　朝鮮興信所　478

好職業　男女誰でも出來る本業又は副業に適す　志望者は來店又は郵券十錢送れ　案內書及製品見本急送す　京城太平通二　大漢門前　太陽ゴム商會　498

▲重石水鉛買入　京城瑞麟洞　大菱商行　光化門郵便局（横川端）電話四八六番　108

萬衣裳貸物所　本町五丁目電車終點　電話二千八百六番　べにや　120

恩給年金類　長期低利立換　市內土地擔保低利金融す　京城南大門外（舊御成町）　山口屋　190

皮膚病花柳病　專門　京城永樂町一商品陳列館坂の上　須古醫院　電話二一〇二番　196

公告

洪川地方金融組合登記事項中變更
江原道洪川郡內面希望洞參統五戶
李斗容
大正五年五月九日組合長ニ就任シタリ
右大正五年五月二十四日登記
京城地方法院春川支廳

公告

左ノ不動產ヲ左ノ日時ニ競賣ニ附ス
入札保證金ハ申出額ノ十分ノ一トス
京城地方法院

◉京城府大和町貳丁目八拾參番地
一、垈百貳拾八坪
最低競賣價額金壹千貳百八拾圓也
右不動產所有者　大關總五郎
競賣申立人　鹽見營五郎

◉京城府洽洞百六拾八番地
一、垈四拾六坪
最低競賣價額金百參拾圓也
地上ニ建設
木造草葺平家建本家壹棟
建坪六坪九合
最低競賣價額金參拾五圓也
右不動產所有者　金魯
競賣申立人　伊藤徹雄

◉京城府元町貳丁目六拾壹番地
一、瓦葺木造貳階建本家壹棟
建坪拾七坪五勺
外貳階坪拾七坪五勺
右附屬建物
建坪拾五坪八合四勺
一、最低競賣價額金參百六拾圓也
內木造瓦葺平家建倉庫壹棟
建坪五坪四合四勺
內釷坪壹坪五合
一、最低競賣價額金六拾八圓也
木造瓦葺平家建本家壹棟
建坪拾八坪貳合
最低競賣價額金八百五拾圓也
右不動產所有者　水野萬
競賣申立人　樺源吉藏

◉京城府西小門町八拾四番地
一、垈參拾六坪
最低競賣價額金貳百貳拾五圓也
地上ニ建設
木造瓦葺平家建本家壹棟
建坪拾五坪參勺
最低競賣價額金參拾五圓也
右不動產所有者　京城中川甚太郎
競賣申立人　京城十五合資會社

◉京城府八九洞七拾八番地
一、垈百七拾壹坪
最低競賣價額金七百圓也
同地上ニ建設
木造草葺平家建本家壹棟
建坪九坪七合
最低競賣價額金拾五圓也
右不動產所有者　李明
競賣申立人　京城隆興株式會社

以上競賣期日ハ大正五年五月參拾日午前拾時トス

西岡恒二郎儀豫而病氣の處去二十四日死去仕候間此段生前辱知諸君へ謹告候也
追而葬送は本日午後五時自宅出棺元町本願寺に於て執行仕候
大正五年五月廿七日
龍山鐵道官舍一〇三號
妻　きん
親戚總代　森篤次郎
友人總代　村山健三郎

當支部長西岡恒二郎儀療養不相叶本月二十四日死去仕候間此段謹告候也
大正五年五月廿七日
京城黃金町三丁目
日本公債株式會社　朝鮮支部

千生瓢 (224)

須藤南翠作 筒井年峰畫

瑞龍寺(二)

稻葉一鐵は深くも秀次の安危を氣遣つたが、秀吉は靜に制して、

「羽柴の秀次おざるが、筑前が目代たる上は、命を捨て落す士のあるは必定ぢや。氣遣ふ事はおざらぬ」

「御意御有理おざる。去りながら全軍の進退は何うおざらうな」

「名人久太郎が居る。彼の堀といふ男、機を見て進退するに、萬に一つも誤つた事のない名人ぢや。今に見され、吉左右が參らうぞ」

其辭の未だ終らざる所に、柳原以下を討ち散して、息も繼せず追撃をかけた事を報じて來た。

一鐵入道は手を拍つて感じ入た。

「筑前殿は天眼通おざるな。此上は三河勢も、人馬の足の立て度なく、潰走の外はおりやらぬ」

一鐵が氣を直して、雀躍して悅ぶのを、秀吉は憐れむやうに見やつて

「入道は姉川の合戰に、家康の手に付られた事おざつた。彼の軍配忘れはせられまい。今度の注進に依つては、自身出馬せずばなるまい。ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、面倒な事ぢやな」

と、與の知れぬ笑ひ方をした。

不幸にして秀吉の先見は、著々として實に中つて、來る注進も、來る注進も、味方の悲運を傳へぬはなく、果は鬼と呼ばれた森武藏守の戰死、池田勝入齋、同く紀伊守、父子一所に討死して、散々の敗軍となつた事を、悲憤の涙に咽びながら、注進する餘義なき始末となつた。

此の戰ひは巳刻(午前十時)に始つて、午刻(正午十二時)には既に勝敗を決し、其注進は疾くも未上刻(午後一時過)に、五里餘を隔てた樂田に達し、敗將殘卒は、夫より後れて離れ〳〵に引揚げて來たのであつたが、秀吉はこの敗報を耳にすると、疾雷一聲出陣の令を下した。

「筒程不覺の敗軍に及ぶとは、安からぬ事ではあるぞ。此上は秀吉馳せ向つて戰致す。初めより此所の要害を守つた者は、尙よく堅固に守れ。其外の軍兵は一騎も殘らず我に續け」

聲の下より鎧取つて投げうけながら、上帶も結びもあへず、

「誰かある。秀吉が馬索け!」と、大聲に呼ばつた。

御廐の別當藤八郎、大鹿毛に梨子地の鞍置き、紫の手綱うちかけて引き出す。秀吉かくと見るや、冑を頂き紐ひき締めて、ゆらりとばかりうち跨つた。其神速なること、右の物を左に移よりも速かであつた。

馬を驅つて陣所〳〵に觸れ歩く使番の陣觸と共に、打物取つて馳せ出る勢ども、風の木葉を吹き寄せる如く、八方より參集する。

法螺の聲高く大將軍の本陣より聞えて來た。續いて大將軍の旗は門外に建てられた。この瞬間の陣立ながら、一番、二番の序列少しも紊れず、はや先鋒より軍勢を進めて、十六番まで繰り出したる處に、大將軍の大旆は進むのであつた。其人數三萬餘、勝誇つて亂れ足になり、無二無三に追擊する德川勢の退かぬ間と、勇み進んで樂田を繰り出した。

秀吉は唯一戰に討ち散して、家康に泡を吹かせ、池田、森が追善に供することを心中に畫策しながら、馬脇近く稻葉入道一鐵を招き、うち語らひつゝ進むのであつた。

「長湫までは五里にも餘らうが、二時が程に打ちたいものぢや。何うあらう、な、入道」

「先手の敗北に、孰れも燃るばかりの怒りを含んで居り申す。此勢ひにて進む時は、日高き程に著到するは必定おざり申す」

一鐵入道は凜然として即答する。秀吉は急に目を屢瞬いて、

「去りながら勝入父子といひ、森武藏ともあらう者が、不憫な事を致いたよのう。羽黑の手合せに敗戰致いたのを、深くも愧ぢて思ひ究めた此度の一戰、またもや不覺の戰したので、思ひのまゝの討死して死を潔ようしたものとおざつた。長可が陣中に留めた一書、唯今手に達しておざるが、舍弟が千之助(忠政)を世嗣として、森が家跡遺れざらんやう、懇ろに請うておざるよ」

「流石は三左衞門が子息、重ね重ねの敗戰の恥をば、身死して雪がうの決心、何處までも鬼武藏おざり申すわやの。宰相殿にも其の志の程、お嬉しうおざらうがな」と、一鐵入道も老眼に淚を浮べてゐた。

新刊紹介

▲朝鮮巡査受驗準備書 朝鮮警察に奉職せんとする者には便利有益なる著なり全編三章に分ち一章に於て一般心得を述べ第二章に入りて受驗資料たる一般的警察行政を説明し第三章には採用試驗問題集を錄し受驗者の參考に資し附錄として朝鮮に於ける受驗者の遵奉すべき法規を載せたり(六十錢東京市神田區仲猿樂町巌松堂)

▲小學讀本卷武英譯 既知の日本讀本に相當する英語の應用を研究習得して英語に習熟するの方法に依るは蓋し英語修學上最も有益なる一方法たらずんば非ず然も徒らに進步の速かならん事をのみ思ひて實力の伴はざる譯の英語に接するは終に之を知るも之に熟する所以の道に非ず所謂日本人英語なる語は之等の弊の產出せるものたらずとせんや本書は尋常小學讀本の英譯研究を爲して和譯文を作成し尙發音をも觀せしむるべし(三十錢東京市芝區南佐久間町一の一英語五千字會出版部)

▲娛樂世界(六月號) 名人花形摘(四の六)本號は四版を重ぬる迄の英明なる彩色畵を卷頭に伯知圓玉[illegible]の奥山如燕等の長講談[illegible]の小說及び雜誌(二十二錢東京市日本橋區すきや町鈴木書店)

▲婦女界(六月號) 婚期より結婚後の婦人の家庭讀物として有益なる記事を收め別特懸賞挿繪小說募集あり(十七錢東京市日本橋區博文館)

某紙が武田和尚を祭る文に●翠嵐●を風の意味に使つてあるが●翠嵐と書いては不字にして未だ存せぬ其れとも●之れは晴嵐を指したものであるか晴嵐と云ふのは晴天の日山より起る氣をいふ、嵐は山の蒸氣なり朝やけ、夕やけだの佐事は知つて居る晴嵐●染●近江八景と云ふ鄕谷の詩もある、賢明な御解釋によると此の晴嵐●は染料とも御覧にならうイヤハヤ却て此方が恐縮千萬(梅岳生)

▲イヤハヤ水原では狂犬病問題で大分騷いで御座る愛犬家の一人の云はれる通りだがこんな問題は水原許りじやない花の都の京城でもよくある奴が飼主はいつも痛い腹を抱へて泣寢入り男らしく正々堂々と論議する大人の御方は一匹も御座らぬテ今度はよい機會だ從來常識の獸醫には御氣の毒だが後來の戒にして遣れ今後此の種のデモ獸醫が狂犬病なんかんと云つた場合は必ず他の開業獸醫に鑑定してもらふ必要がある吾輩の犬を狂犬病なんどゝ云うて殺したら承知せぬぞそれは兎に角獸醫に異議があつたら時效にかゝらない中異議の申立をしたらよからうイヤ今まで申立が無いから承認かなシテ見るとやつぱり誤診だナ危ふない〳〵(拳骨翁)▲市中の看板に非美術的のものが出來だした元來看板などは市街美と大に關係があるから少しく考案したらよからう(通行生)▲金剛山探勝を最も經濟的にするには何うすればよいのです(一教員)

商況

大阪株式特電

△二十六日

合同紡績	七〇、六〇	
鐘淵紡績	一七一、四〇	
同上新株	一五一、四〇	
東洋紡績	一〇三、〇〇	
大阪[illegible]	一二八、九〇	
五月限	一三、二〇	一三、二〇
六月限	一三、一〇	一三、一〇
七月限	一三、一〇	一三、一〇
八月限	一三、九〇	一三、一〇
九月限	一三、六〇	[illegible]

下關期米特電

△廿六日後場(各地[illegible])

△二十六日前場 大阪前止十三圓四十九錢後寄二十錢の入電にて當地當中出來、市先十二圓二十四錢と二錢高に寄付たるが大阪三節二十五錢四節二十六錢五節二十七錢と逐節毎に買物多く保ら二十八錢と上[illegible]其他より買ひ向ひたるも遂に三十錢と跳ね返して散會を告げたり市場は頭日來相場の頭重き威行な場も居りたると一面正米界の不況を傳へて賣買ふ張り合にて當に大阪との鞘一時二圓八十錢[illegible]

▲現物界 [illegible]

塲 止(寄付) 廿六日の七月限 十二圓二十四錢 十二圓二十錢 [illegible]

五月限	九百石
六月限	四千七百石
七月限	三萬五千六百五十石

□香氣の馥郁たる事 □風味の醇美なる事 □色澤の鮮麗なる事 紳士 □名聲の如く □典雅なる如く □擧止の如し

多年の苦心により本年の釀造期を利し天下の酒產地攝津灘に於て特に貴顯紳士の御用向として特別釀造完成致候は本品に有之何卒御鑑味御愛顧奉願候

發賣元 京城本町一丁目 佐藤牧商店 電話二九番 振替京城二九番

龍山漢江通 佐藤牧支店 電話四二九番

朝鮮總督府裁判所書記 早川保次君編著

再版 改訂增補 朝鮮不動產登記 朝鮮商業登記 申請書式並心得

▲紙數四百八十頁 代價金壹圓郵稅拾錢

本書中不動產登記の部には土地調査に關聯せるもの及不動產登記法に依る申請書式、官公署の登記に關する囑記書式等併て百貳拾餘件並に印鑑屆、印鑑證明願、改印屆、土地變更事項に關する證明申請(京城府所定)委任狀、契約書、保證書、建物圖面及共同擔保目錄雛形等を揭て加之に官通牒、登記に關する決議、實例等若も申請人の參考と爲るべきものは擧て各書式の末尾に之を揭記し以て疑獸を釋明し又商業登記の部には未成年者、妻、法定代理人、商號、支配人及各會社に關する申請書式等併て五十餘件を登載し且一讀何人にも了解し得へき程度に之を編纂せり土地所有者、不動產上權利者、會社、代書者必備の參考書たり

發行所 京城日報社 振替京城三〇〇〇 東京大平通

茂木式特許機械製

三はまれ味噌

三味噌の儀發賣以來十週年に相成非常の好評を博し產額日に月に增進致し候儀全く御愛顧の餘榮と深く感佩仕候今回弊社支配人の考案になる特許精碎機を据付け候と共に品質に一大改善を加へ と改稱し御用命に應じ申事に相成候間舊に倍し一層の御引立に預り度偏に御願申上候

日本醬油株式會社 京城出張所 電話二四五番

りん病 ばい毒 專門藥房

天下に名の有る、りん病ばい毒藥ならば如何なる世界の果にて製造して居る藥でも悉く蒐集して常に實際の効力を試驗して居ります。而して自家製藥の改良に努めて居ります。吾が社の藥が常に世界唯一無二の良藥であるとの評判を得て居りますのは、只世界の有りと有らゆる淋病黴毒藥の長所を取つて藥味及び製法に間斷無く改良を加へて行くからであります。吾が社は他の如何なる淋病、梅毒藥とでも効力に對する競爭試驗に應じます。詳細は五月三日の京城日報御覧、近頃各地に僞ドラッグ續出せり御注意を乞ふ●ばい毒藥一週間分普通壹圓貳拾錢特製貳圓●りん病藥壹週間分普通貳圓特製參圓●照會は返信券を要す

京城南大門外停車場通り 鮮本部 ドラッグ商會 本舖 大阪 合資會社 ドラッグ商會 電話二五六七番 振替京城四六七番

コ ム 電話六〇九 ゴム專業の嚆矢

日本郵船仁川出帆

大連、大沽、牛莊行

相模丸	六月四日	正午出帆
高砂丸	六月十二日	正午出帆
三河丸	六月廿四日	正午出帆

仁川海岸町十丁目 電話十番 堀回漕部

大阪商船仁川出帆

群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行 大智丸 六月八日 午後五時／安東丸 六月 日／須磨丸 五月 日 出帆

木浦、釜山、嚴原、鄕の浦、長崎行 信濃川丸 六月十六日／信濃川丸 五月廿九日 後二時出

鎭南浦、大連行 信濃川丸 六月十一日／信濃川丸 六月廿九日 後二時出

大連直行 福州丸 六月八日／潮州丸 六月十七日 正午出帆

木浦、釜山、關門、神戸、大阪行 天草丸 五月卅一日 後二時出

群山、釜山、横濱行 群山丸 六月十三日／潮州丸 五月三十日 後二時出

清津、浦潮行(元山出帆) 印度丸 六月八日／須磨丸 六月十四日 後二時出 (清津、西湖津ニ寄港浦潮不寄港)

安平丸 六月 日

上海、基隆、打狗行(大連出帆) 湖北丸 六月十七日／基隆丸 六月 日 後四時出

御注意 ○印は鐵道及び南滿洲鐵道會社との船車連絡切符發賣仕候 ×印は一等客御斷り △印は船客御斷り ○御乘船客は本船出帆約一時間前御着船の事

京城切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二番 内國通運會社支店 電話七〇八番

△中國四國沿岸各港行船客に對し當分門司にて連絡乘換切符發賣仕候

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行

○大正丸	五月 日	後四時出帆
○大有丸	五月廿九日	後四時出帆
○神代丸	六月三日	後四時出帆
○秀吉丸	五月 日	後五時出帆
○君が代丸	五月 日	後五時出帆

仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行 立神丸 五月廿三日 後五時出帆

○元山、清津、浦鹽行 立神丸 五月 日後十時出帆

○門司、神戸、大阪行 小倉丸 五月 日後五時出帆

○元山、城津、浦鹽行 小倉丸 五月 日後十時出帆

○元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 月 日後六時出帆

○門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 五月 日後六時出帆

○住須奈、嚴原、壹岐、博多行 天眞丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆

釜山港驛前新町 本船取扱店 大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆

○芝罘、大連行(關東都督府命令船) 第十共同丸 五月廿七日入港 五月卅一日出港

朝鮮鐵道主要驛にて青島行定期船接續荷客共直航大連にては青島行定期船と同樣運賃にて通し輸送御取扱可仕候

○城津、清津、浦鹽行(元山出帆) 第一阪鶴丸 月 日後九時出

○西湖津沿岸各港を經て雄基行(元山出帆) 第三共同丸 月 日前八時出

阿波國共同汽船株式會社 本町一丁目(電話一〇八番) 仁川代理店 山下回漕部 元山代理店 田口[illegible] 京城取次店 河村運送店

朝鮮郵船仁川出帆

鐵道會社及社外船と荷客連帶輸送 本社 電話長一九五 京城南大門前 松原運送店(電話長一七〇番)

○全羅丸 六月十一日／○京畿丸 六月一日／○黃海丸 六月五日／○咸鏡丸 六月十五日 釜山發 (門司より各港經由木浦行)

○穩城丸 六月二日／○昌平丸 五月卅一日／○鏡城丸 五月廿七日 元山發 (元山より各港經由雄基行)

○忠清丸 六月一日／○平壤丸 六月十三日 元山發

○永興丸 毎月廿八日 元山發

○會寧丸 五月三十日 釜山發

○江陵丸 毎日 釜山發／○襄陽丸 浦項發 (長生浦方魚津寄港)

○三浦丸 五月廿九日 釜山發 (長承浦、蔚水、巨文島、濟州島各港寄港)

○海州丸 ○統營丸 ○巨濟丸 ○慶寶丸 毎日 釜山發

○順天丸 三日目毎 木浦發 (各港經由麗水行)

○慶興丸 五月廿八日 木浦發 (各港經由濟州島行)

○公州丸 六月四日 木浦發

○公州丸 五月三十日 木浦發

○宗古丸 五月廿七日 仁川發

○江原丸 五月廿七日 仁川發

○麗水丸 六月一日／○晉州丸 六月五日 仁川發

○錦江丸 ○南陽丸 毎日午前 仁川發 (江華島、喬桐島、海州行)

○平安丸 五月廿七日 六月一日 群山發 若松發 (往航 大黑山、木浦、門司、若松行 復航 門司、木浦、群山行)